資　　料　　２
令和８年１０月１日
Ｒ０８総市委　０４

はちのへ創生総合戦略
数値目標及び重要業績評価指標(KPI)

第４回八戸市総合計画等推進市民委員会

令和８年１０月１日

八　　戸　　市

〇施策シート目次

Ⅰ．施策の体系･･･ P1
Ⅱ．基本目標と展開する施策
【基本目標１】八戸が好きになる、未来を創る「ひと」を育てる............ P2
【基本目標２】八戸で働きたくなる、魅力的な「しごと」をつくる.......... P17
【基本目標３】八戸に住み続けたくなる、共に生きる「まち」をつくる...... P29

〇資料２の見方

●Ⅰ．施策の体系

総合戦略の施策の体系を表でまとめています。

●Ⅱ．基本目標と展開する施策

総合戦略の冊子に記載している３つの基本目標ごとに、地方創生の推進を図るために取り組むべき政策を説明しています。

（１）数値目標

基本目標ごとの数値目標を記載しています。

（２）展開する施策

施策ごとに、総合戦略に掲載している施策の方向性、主な個別施策、重要業績評価指標（KPI）を掲載しています。

※主な個別施策については、はちのへ創生総合戦略 付属資料 令和８年度主要事業一覧に掲載している事業名と掲載ページを記載しています。

はちのへ創生総合戦略について

Ⅰ．施策の体系

基本目標	展開する施策	主な個別施策
①八戸が好きになる、未来を創る「ひと」を育てる	①次代を拓く人を育む	①特色ある学校教育の充実 ②こどもの育ちを支える環境の整備 ③こども・若者の活躍の場の創出
	②選ばれるまちをつくる	①移住・定住・UIJ ターンの促進 ②若者・女性の地元定着の促進 ③地元を知る機会の創出 ④文化芸術・スポーツ・観光の振興 ⑤高等教育機関の魅力創出
	③　地元とのつながりの維持・拡大	①地域の魅力の情報発信の充実 ②「関係人口」の創出・拡大 ③広域連携の推進
②八戸で働きたくなる、魅力的な「しごと」をつくる	①地域の活力を生むしごとの基盤強化	①持続可能な第一次産業の振興 ②中小企業等の経営強化 ③販路の拡大と八戸港の物流機能の強化 ④観光産業の高付加価値化
	②しごとと人をつなげる	①多様な働き方の実現 ②人材の確保・育成の促進 ③外国人材の活用の促進
	③しごとの場や機会を創出する	①企業誘致の促進と雇用の拡大 ②事業者や若者のチャレンジへの支援
③八戸に住み続けたくなる、共に生きる「まち」をつくる	①生き生きと自分らしく暮らせる環境づくり	①協働・共創のまちづくりの推進 ②高齢者・障がい者等への支援の充実、社会参加の促進 ③男女共同参画や多文化共生及び多様な性の在り方を尊重する社会づくり ④健康づくりの推進
	②安心してこどもを産み育てられる環境の整備	①妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実 ②出会いの場の創出と結婚支援の充実 ③ワーク・ライフ・バランスの推進
	③快適な生活環境の維持	①市民サービスのデジタル化とデジタル技術を活かしたまちづくりの推進 ②コンパクトなまちづくりの推進 ③多様な交通手段による交通ネットワークの維持 ④地球環境に優しいまちづくり
	④　地域の安心・安全の確立	①質の高い医療環境の整備 ②安心・安全で持続可能なまちづくり ③防災力の強化

Ⅱ．基本目標と展開する施策

【基本目標１】八戸が好きになる、未来を創る「ひと」を育てる

- ✓ 当市の人口における社会動態は、進学や就職を機に 10 代後半から 20 代前半にかけて大幅な転出超過、20 代半ばから 30 代前半にかけてわずかな転入超過の傾向が見られ、全体としては転出超過による人口減少が進んでいる状況です。
- ✓ これらを克服するためには、生まれ育った地元を知る機会の創出や移住・定住に関する取組の強化などを推進し、八戸市を訪れたい・住みたいと思う人を増やしていくとともに、様々なきっかけから八戸市に興味を持ち、継続的につながりを深めることができる仕組みをつくることで、関わる人が訪れたくなるまちを目指していきます。
- ✓ また、次代を拓いていくこどもや若者が心身ともに健やかで心豊かに成長できるよう、地域全体でこどもたちを守り育む体制づくりや学校教育の充実、こどもや若者の主体的活動など、当市の実情に合わせたこども・若者施策を展開します。

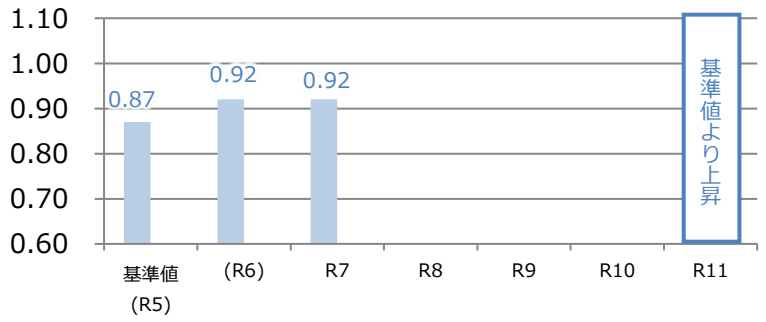
KPI の推移状況

- ✓ 全体的に、おおむね順調に推移している。
- ✓ 【施策１　次代を拓く人を育む】「コミュニティスクールにおける地域学校協働活動参加者数」（P6）では、ボランティアの固定化や高齢化が進んできているため、より若い世代にも周知をしていく必要がある。
- ✓ 【施策３　地元との関わりの維持・拡大】「八戸市各公式 SNS の登録者数」(P15)は地震やクマ出没など、災害関連の情報発信をきっかけに登録者数が増加している。また、「ふるさと納税の寄附金額」(P16)、「企業版ふるさと納税件数」(P16)についても昨年 12 月の地震の影響で数値が上昇している。

（１）数値目標

項目	目標値
①転出者に対する転入者の割合	基準値より上昇（0.87 以上）
②八戸市に愛着や誇りを感じている人の割合	基準値より上昇（70.5%以上）

■転出者に対する転入者の割合

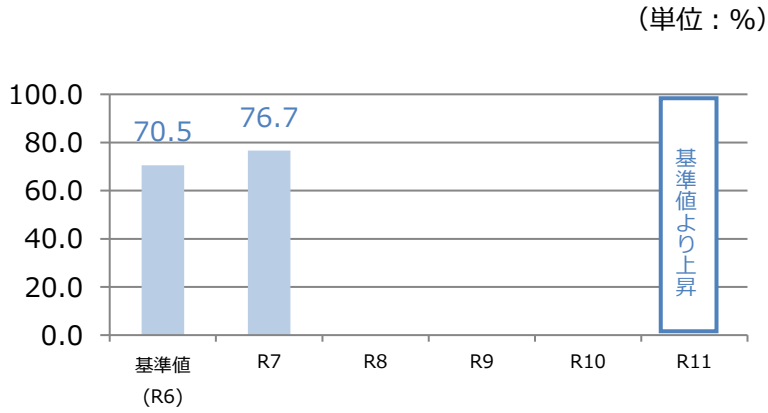


【出典】
市民課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
総転入者数÷総転出者数

■八戸市に愛着や誇りを感じている人の割合



【出典】
若者活躍応援課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
八戸市「若者意識調査」アンケートで「八戸市に愛着や誇りを感じている」と回答した人の割合

«R7 年度以降»

「こども・若者アンケート調査」のうち、「八戸市に愛着や親しみを感じているか」という設問（対象：18～39 歳）に対する肯定的な回答の割合

（２）展開する施策

【施策１】次代を拓く人を育む

〇施策の方向性

■ 八戸市教育振興基本計画に基づき、学校・家庭・地域が連携・協働するコミュニティ・スクールや体験学習支援、海洋 STEAM 教育など、当市の特色ある教育を推進するとともに、ICT 等のデジタル技術を活用した教育を推進することで、次代に必要とされる資質や能力の育成に取り組んでいきます。

■ こどもの意見を聴く機会の創出や若者を中心とした世代による協働のまちづくりの推進など、こどもや若者が主体的に活動できる環境づくりを推進します。

〇主な個別施策

①特色ある学校教育の充実（４事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
文化芸術推進事業	文化創造推進課 美術館	P 1
広域的体験学習支援事業	教育指導課	P 1
GIGA スクール構想推進事業	総合教育センター	P 1
教育の情報化推進事業	総合教育センター	P 2

②こどもの育ちを支える環境の整備（19 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
キッズパークイベント開催事業	長根屋内スケート場	P 3
乳幼児木育推進事業	畜産林政課	P 3
保育士資格等取得支援事業	こども未来課	P 3
保育士修学資金貸付金事業	こども未来課	P 3
保育施設等整備事業	こども未来課	P 4
子ども食堂等支援事業（こどもの居場所等支援事業）	子育て支援課	P 4
こどもの国大型複合遊具設置事業	公園緑地課	P 4
とりの木沢公園 Park-PFI 賑わい拠点整備事業	公園緑地課	P 4
小・中学校整備事業	教育総務課	P 4
学校給食費無償化事業	学校教育課	P 4
小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業	学校教育課	P 5
新学校給食センター整備事業	学校教育課	P 5
コミュニティ・スクール推進事業	教育指導課	P 5
スクールソーシャルワーカー活用事業	教育指導課	P 6

児童科学館改修事業	総合教育センター	P 6
特別支援教育アシスト事業	こども支援センター	P 6
教育相談・適応指導教室事業	こども支援センター	P 6
特別支援教育看護支援員配置事業	こども支援センター	P 6
特別支援教育推進事業	こども支援センター	P 7

③こども・若者の活躍の場の創出（5 事業）

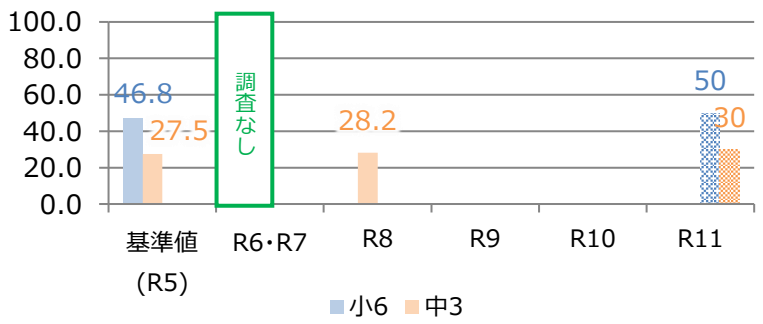
事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
学生まちづくり助成金等事業	若者活躍応援課	P 8
高校生地域づくり実践プロジェクト事業	若者活躍応援課	P 8
まちづくりインターン助成金制度	若者活躍応援課	P 8
若者マチナカ会議運営事業	若者活躍応援課	P 8
こどもの声を聴く機会創出事業	こども未来課	P 8

○重要業績評価指標（KPI）

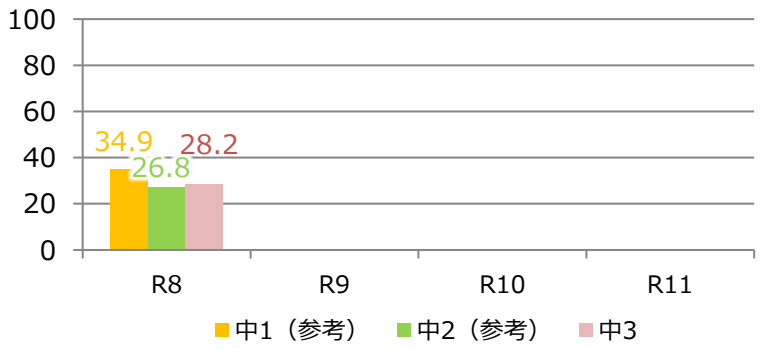
項目	目標値
①今住んでいる地域の行事や活動に参加している児童・生徒の割合	小学 6 年生：50.0% 中学 3 年生：30.0%
②コミュニティスクールにおける地域学校協働活動参加者数（総数）	48,000 名
③八戸圏域広域的体験学習支援事業の活用校の割合（市立小・中学校）	90.0%
④こどもまちなか IT 部の部員数（累計）	62 人

■今住んでいる地域の行事や活動に参加している児童・生徒の割合

（単位：%）



«参考データ»学年毎の状況　（単位：%）



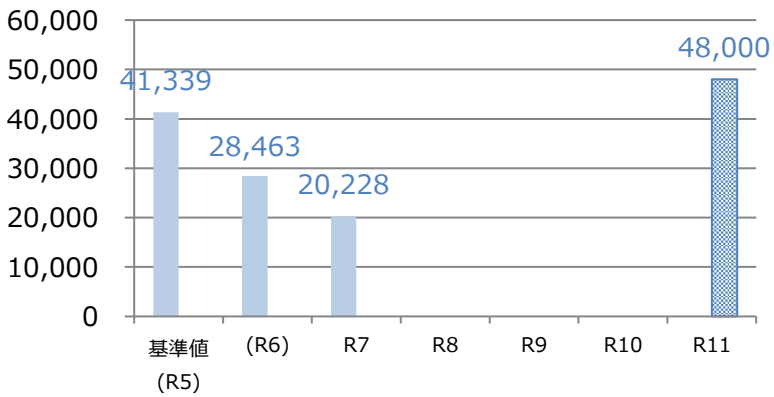
【出典】
教育指導課提供データ（全国学力・学習状況調査／市学力実態調査）を基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
地域の行事や活動に参加している肯定的回答の割合
※R5 年度…全国学力・学習状況調査（R6 年度以降は本項目を扱わなくなった）
※R8 年度以降…市学力実態調査（中学校は R8.4 に実施。小学校は R9.1 実施予定。）

■コミュニティスクールにおける地域学校協働活動参加者数（総数）

（単位：名）

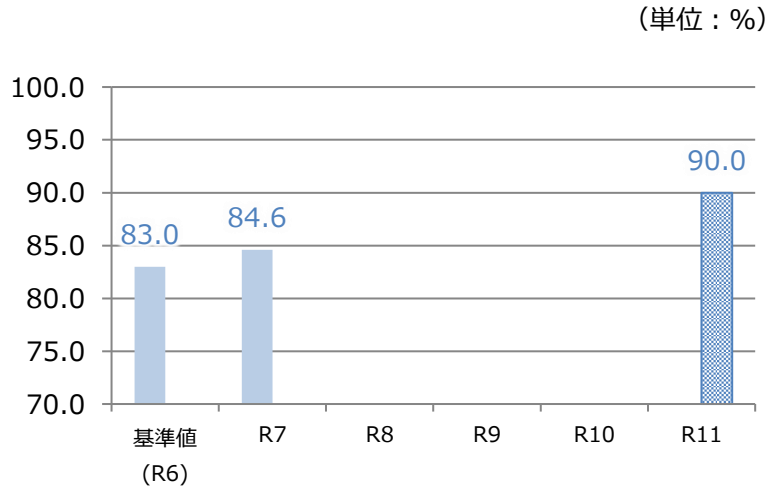


【出典】
教育指導課提供データ（コミュニティ・スクール推進事業アンケート）を基に作成

【基準日・期間】
各年度 2 月末日

【指標の定義】
学校支援ボランティア人数

■八戸圏域広域的体験学習支援事業の活用校の割合（市立小・中学校）

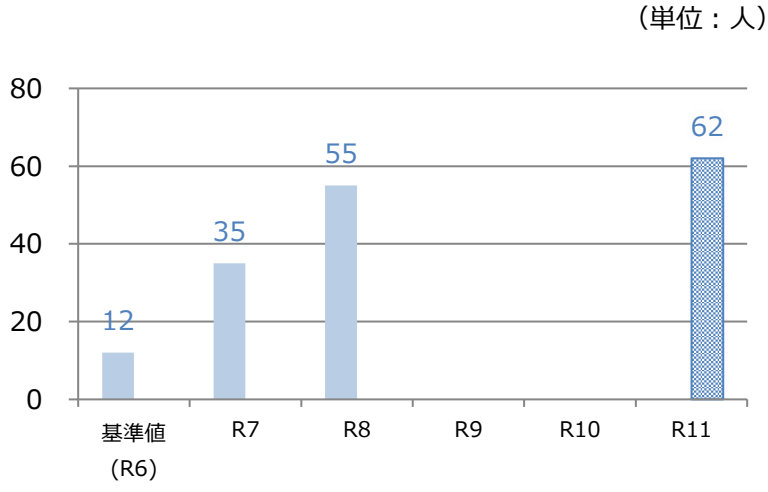


【出典】
教育指導課提供データ（広域的体験学習報告書）を基に作成

【基準日・期間】
各年度２月末日

【指標の定義】
市立小・中学校数に対する活用校の比率

■こどもまちなか IT 部の部員数（累計）



【出典】
こども未来課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
こどもまちなか IT 部（対象：中・高生）に参加する生徒の数の累計

【施策２】選ばれるまちをつくる

○施策の方向性

■ 東京圏等からの人の流れをつくるために、移住関連情報の発信を強化し、移住相談や移住体験の充実を図るとともに、移住を希望する人への受入体制を整備することで、八戸に移住したい人を増やし、UIJ ターンの促進に取り組みます。

■ 若者や女性を中心とした市内外の人から選ばれるまちづくりを目指すため、高校や大学等と連携し、地域の活性化や若者の参画による魅力あるまちづくりを推進するとともに、大学等の魅力化に向けた取組を推進します。

■ 美術館やはっち、ブックセンターなどの文化芸術関連施設や長根屋内スケート場や FLAT HACHINOHE、さらには建て替えを進めている新八戸市体育館等のスポーツ関連施設を活用した文化・スポーツの振興やそれらを核としたまちづくりのほか、当市特有の観光振興により地域の魅力向上を図ります。

○主な個別施策

①移住・定住・UIJ ターンの促進（10 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
八戸産学官連携推進事業	政策推進課	P 10
八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業	若者活躍応援課	P 10
八戸市超帰省応援事業	若者活躍応援課	P 10
産学官連携 U ターン事業	若者活躍応援課	P 10
若者力形成インターンシップ事業	若者活躍応援課	P 11
移住・交流促進事業	若者活躍応援課	P 11
ほんのり温ったか八戸移住計画支援事業	若者活躍応援課	P 11
移住支援金支給事業	若者活躍応援課	P 11
医療・福祉職子育て世帯移住支援金支給事業	若者活躍応援課	P 11
地方就職支援金支給事業	若者活躍応援課	P 12

②若者・女性の地元定着の促進（4 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
八戸産学官連携推進事業	政策推進課	P 13
はちのへ企業魅力発信×発見フェア	若者活躍応援課	P 13
八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業	若者活躍応援課	P 13
若者力形成インターンシップ事業	若者活躍応援課	P 13

③地元を知る機会の創出（6 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
八戸産学官連携推進事業	政策推進課	P 14
マチナカまるっと 1 日体験事業（５館連携）	若者活躍応援課	P 14
高校生による地元企業魅力発見体験事業	若者活躍応援課	P 14
若者力形成インターンシップ事業	若者活躍応援課	P 15
地元企業ファンづくりプロジェクト事業	産業労政課	P 15
グリーン・ツーリズム推進事業	食の流通・ブランド推進室	P 15

④文化芸術・スポーツ・観光の振興（38 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
南郷ジャズフェスティバル開催支援事業	南郷事務所	P 16
八戸ポータルミュージアム事業	八戸ポータルミュージアム	P 16
マチニワイベント支援事業	八戸ポータルミュージアム	P 16
種差海岸遊覧・日曜朝市循環バス運行事業	観光課	P 16
観光案内所運営事業	観光課	P 16
VISIT はちのへ活動支援事業	観光課	P 16
旧柏崎小学校跡地広場整備事業	観光課	P 16
はちとま観光ＰＲ事業	観光課	P 16
食のまち・八戸推進事業	観光課	P 17
八戸三社大祭 PR 事業	観光課	P 17
八戸えんぶり PR 事業	観光課	P 17
八戸フェア in 羽田空港	観光課	P 17
はちのへアート広場事業	文化創造推進課	P 17
八戸ブックセンター事業	文化創造推進課	P 18
市民による多彩な文化芸術活動振興事業	文化創造推進課	P 18
文化施設の文化プログラムの充実・連携事業	文化創造推進課	P 18
フラットアリーナ利用促進事業	スポーツ振興課	P 18
新体育館整備事業	スポーツ振興課	P 18
地域スポーツチーム応援事業	スポーツ振興課	P 19
氷都八戸パワーアッププロジェクト事業	スポーツ振興課	P 19
八戸スポーツコミッション支援事業	スポーツ振興課	P 19
八戸市美術館運営事業	美術館	P 19
アートファーマープロジェクト	美術館	P 19
スピードスケート国際大会誘致事業	長根屋内スケート場	P 19

長根屋内スケート場活用促進事業	長根屋内スケート場	P 20
マイブック推進事業	教育指導課	P 20
学校図書館支援事業	教育指導課	P 20
えんぶり調査事業	社会教育課	P 20
八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産 PR 事業	社会教育課	P 20
八戸圏域文化財魅力発信事業	社会教育課	P 20
無形民俗文化財後継者養成事業	社会教育課	P 21
民俗芸能の夕べ開催事業	社会教育課	P 21
有形文化財保存・活用事業	社会教育課	P 21
縄文の里整備事業	是川縄文館	P 21
埋蔵文化財の保存・活用事業	是川縄文館	P 21
世界遺産 PR 事業	是川縄文館	P 21
はちのへ電子図書館推進事業	図書館	P 21
指定・認定文化財保存活用事業	博物館	P 21

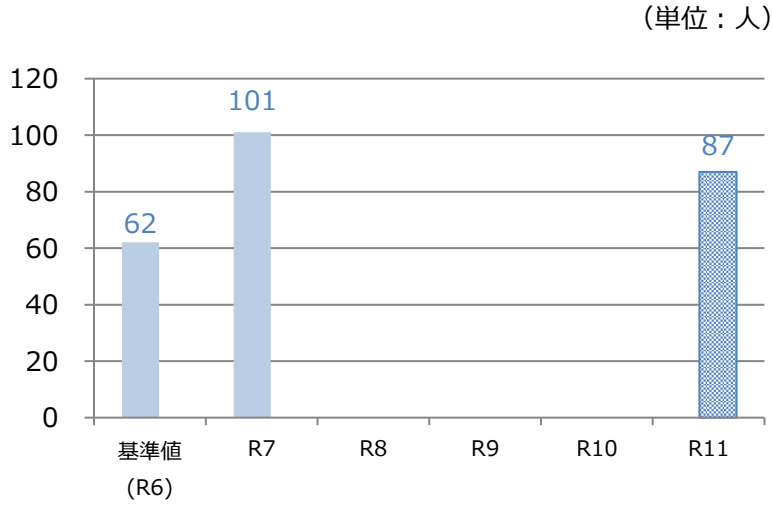
⑤ 高等教育機関の魅力創出（1 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
八戸産学官連携推進事業	政策推進課	P 22

○重要業績評価指標（KPI）

項目	目標値
①移住者数	87 人
②農家民泊体験者数（八戸圏域ファームステイ事業参加者数）	200 名 (R7～R11 の累計)
③中心市街地の公共施設来館者数（年間）	1,572,900 人
④観光入込客数	6,173,000 人
⑤産学官連携事業数	13 事業

■移住者数



【出典】
若者活躍応援課提供データを基に作成

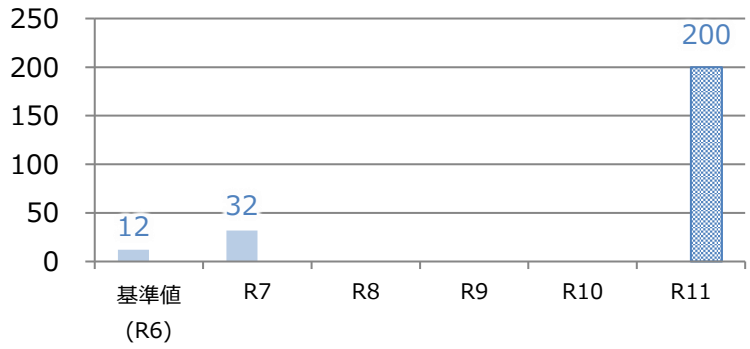
【基準日・期間】
各年 12 月末日

【指標の定義】
«基準値»
下記①～③の合計数
①「ほんのり温ったか」の就職者数とその同一世帯員数
②「移住支援金」の受給者とのその同一世帯員数
③「医療・福祉職」の受給者とのその同一世帯員数

«R7 年度以降»
次の①と②の合計数
①次の移住支援制度を活用した世帯の人数
・八戸市移住支援金支給事業
・八戸市地方就職支援金（地方就職学生支援事業）
・八戸市医療・福祉職子育て世帯移住支援金支給事業
・ほんのり温ったか八戸移住計画支援事業
②アンケート把握※（次の全てに当てはまる世帯の人数）
・転入理由が「起業」「就職・転職」「新築・転宅」
・転入前に移住相談窓口を利用したことがある
・①の移住支援制度を活用していない
※アンケート回答日ベース

■農家民泊体験者数（八戸圏域ファームステイ事業参加者数）

（単位：名）



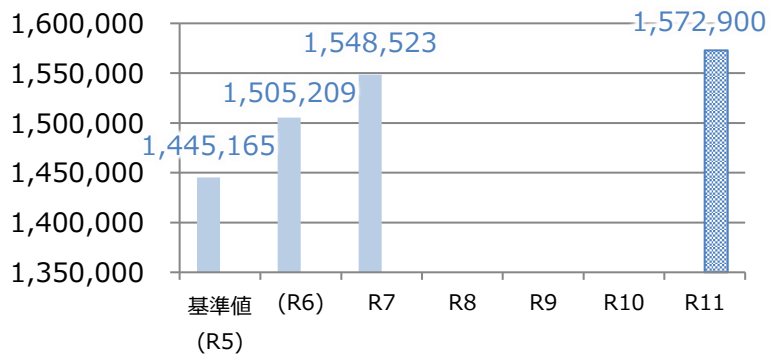
【出典】
食の流通・ブランド推進室提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
八戸圏域ファームステイ事業（対象：中・高生）への参加人数（R7～11 の累計）
※R6 は中学生のみ対象。

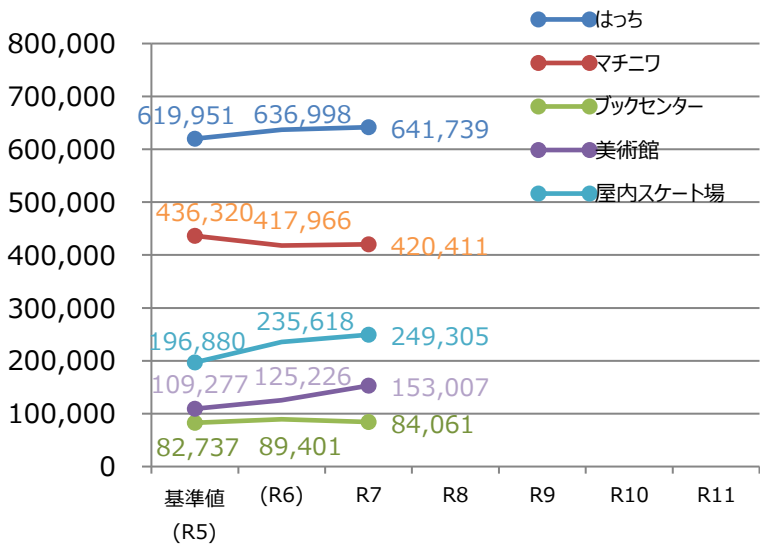
■中心市街地の公共施設来館者数（年間）

（単位：人）



【出典】
八戸ポータルミュージアム・文化創造推進課・美術館・長根屋内スケート場提供データを基に作成

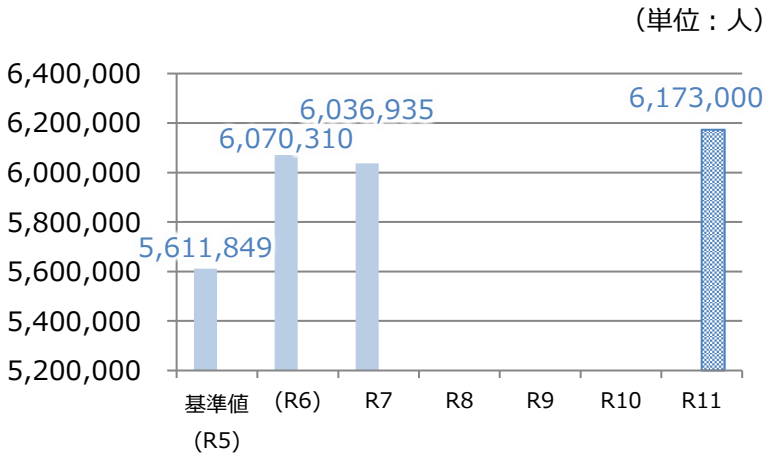
【内訳】



【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
はっち、マチニワ、ブックセンター、美術館、長根屋内スケート場の合計数

■観光入込客数

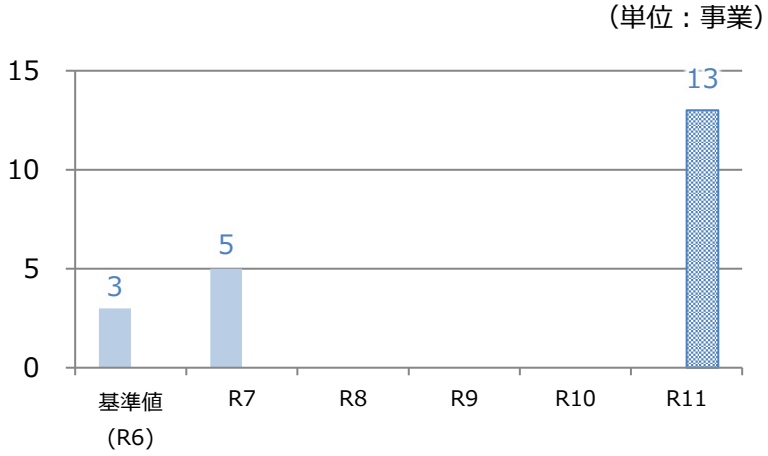


【出典】
観光課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年集計

【指標の定義】
市内の観光地点を訪れた観光客の総数

■産学官連携事業数



【出典】
政策推進課（八戸産学官連携推進会議）提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
「八戸市、八戸商工会議所及び八戸市高等教育連携機関との包括的な連携に関する協定」に基づき設置されている「八戸産学官連携推進会議」が実施する事業数（延べ件数）

【施策３】地元とのつながりの維持・拡大

○施策の方向性

■ SNS をはじめとする各種媒体を効果的に活用し、テーマやターゲットを絞った情報発信を行うなど、市内外に当市の魅力を継続的に発信していきます。

■ 当市への継続的な関心と交流を通じた多様な形での関わり、当市を応援する「関係人口」の創出・拡大への取組を推進することで、八戸のファンを増やしていくとともに、継続的に関わり、つながることができる仕組みを作ります。

■ また、八戸連携中枢都市圏における連携強化や岩手県北地域や北海道苫小牧市等との広域的な連携・交流を図り、結びつきを強めることで、相乗効果による広域全体の魅力向上を図ります。

○主な個別施策

①地域の魅力の情報発信の充実（4 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
シティプロモーション推進事業	広報統計課	P 23
市政情報発信力の強化事業	広報統計課	P 23
サンフェス HACHINOHE 開催支援事業	商工課	P 23
八戸都市圏交流プラザ運営事業	観光課	P 24

②「関係人口」の創出・拡大（5 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
官民連携推進事業	政策推進課	P 25
八戸市超帰省応援事業	若者活躍応援課	P 25
ふるさと寄附金ＰＲ事業	広報統計課	P 25
シティプロモーション推進事業	広報統計課	P 25
八戸都市圏交流プラザ運営事業	観光課	P 25

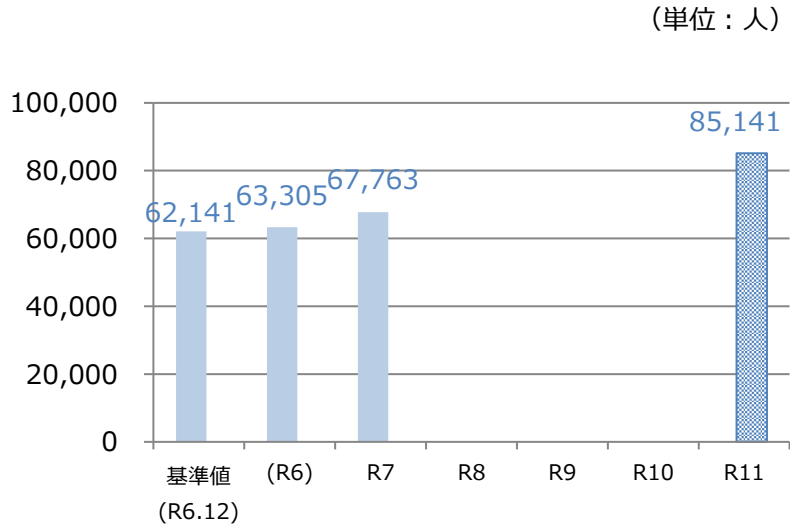
③広域連携の推進（8 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
八戸圏域地域公共交通計画推進事業	政策推進課	P 26
三圏域連携推進事業	政策推進課	P 26
連携中枢都市圏推進事業	政策推進課	P 26
はちとまネットワーク推進事業	政策推進課	P 26
ＪＲ八戸線利活用事業	政策推進課	P 26
はちとま観光ＰＲ事業	観光課	P 26
八戸都市圏交流プラザ運営事業	観光課	P 27
はちとまジュニアアイスホッケー交流事業	スポーツ振興課	P 27

○重要業績評価指標（KPI）

項目	目標値
①八戸市各公式 SNS の登録者数	85,141 人
②ふるさと納税の寄附金額（年間寄附金額）	300,000,000 円
③企業版ふるさと納税件数（延べ件数）	39 件
④連携中枢都市圏における連携事業数	83 事業

■八戸市各公式 SNS の登録者数



【出典】
広報統計課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

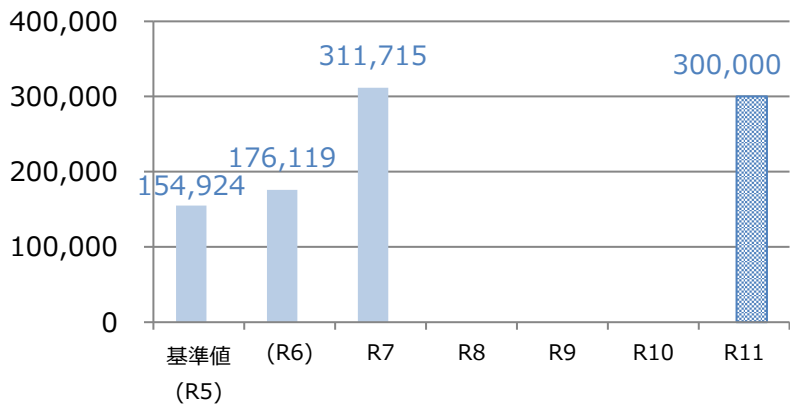
【指標の定義】
八戸市の各公式 SNS（X、Facebook、LINE、Instagram）の登録者数の合計値

«参考データ»各 SNS の令和 7 年度実績と令和 6 年度実績の比較

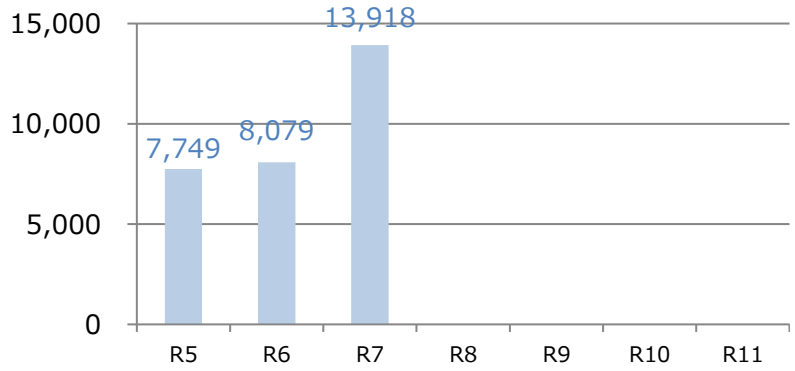
	投稿数	対前年度比	インプレッション数	対前年度比	フォロワー数	対前年度比
X	899	+199	8,480,186	+4,030,232	45,568	+931
Facebook	878	+184	1,666,502	+882,765	4,595	+758
LINE	828	+159	177,100	+40,843	17,137	+2,570
Instagram	20	△5	28,037	+21,678	463	+199
(参考)YouTube	62	△4	16,281,455	+6,719,606	18,815	+1,220

■ふるさと納税の寄附金額（年間寄附金額）

（単位：千円）



«参考データ» 寄附件数　（単位：件）



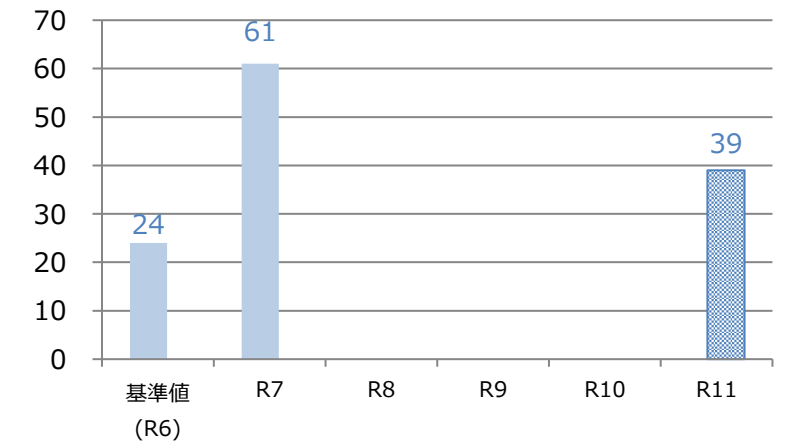
【出典】
広報統計課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
八戸市へのふるさと納税額（個人からの寄附金額、1,000 円未満は切り上げて表示）

■企業版ふるさと納税件数（延べ件数）

（単位：件）

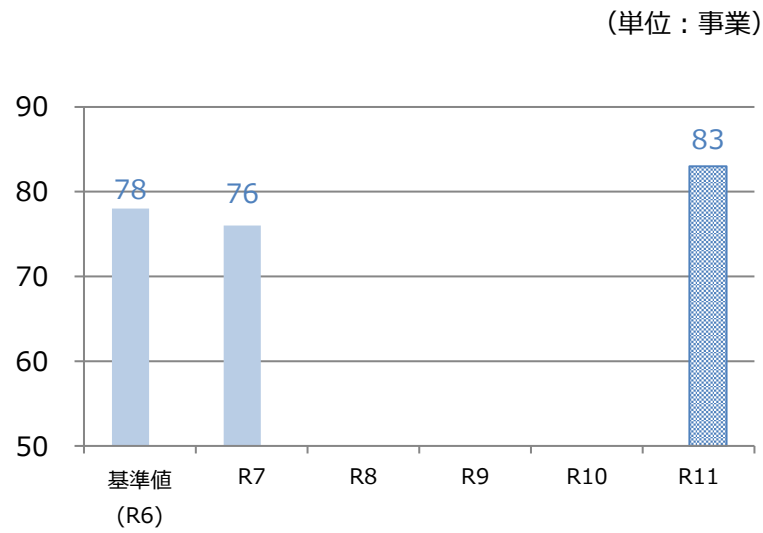


【出典】
政策推進課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
H30～八戸市に企業版ふるさと納税を行った延べ企業数

■連携中枢都市圏における連携事業数



【出典】
政策推進課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年４月１日

【指標の定義】
八戸圏域連携中枢都市圏における連携事業の数

【基本目標２】八戸で働きたくなる、魅力的な「しごと」をつくる

- ✓ 人口減少が進行するとともに、2025(R７)年には団塊の世代全員が 75 歳以上の後期高齢者となり、高齢化がより一層進行していく中にあっても、地域経済の縮小を克服していくため、若者を中心に「八戸で働きたい」と思える魅力的な雇用機会を創出し、多様な担い手確保や高度人材・専門人材の育成を図ります。
- ✓ また、誰もが安心して働くことができる多様な働き方を推進するとともに、産学官等の連携強化を図り、地域産業の裾野拡大と新たなビジネスへの展開やチャレンジ意欲の高い事業者や若者等を支援することで地域内でのイノベーション創出を目指します。
- ✓ 新たな感染症や自然災害の激甚化、国際情勢の急変等、社会情勢の予測が難しい中にあっても、農林畜産業や水産業といった第一次産業や中小企業等を中心とした経済活動の持続可能性を高めるとともに、当市の特色ある地域産業の基盤を強化します。

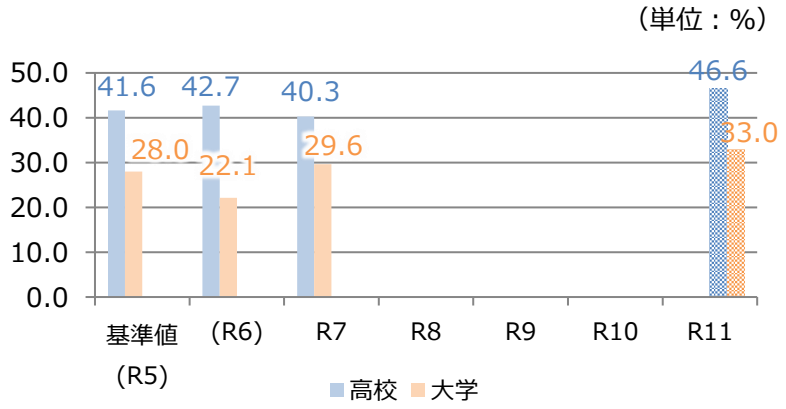
KPI の推移状況

- ✓ 【施策１　地域の活力を生むしごとの基盤強化】「八戸港水揚げ金額」(P23)は基準値から減少しているものの、概ね横ばいと認識している。昨年度八戸水産アカデミー内に設置された「魚市場の今後のあり方専門部会」からの提言を踏まえ、魚市場の機能改善に取り組むとともに、養殖業への新規参入を支援することで水産資源の確保に努める。
- ✓ 【施策２　しごとと人をつなげる】「就職率（八戸公共職業安定所管内全体の率）」(P27)は低下傾向にあるが、求職者の就職経路が民間サービスへ移行していることが一因と考えられる。

（１）数値目標

項目	目標値
①市内高校・大学の就職希望者に占める管内事業所への就職率	高校：46.6% 大学：33.0%
②納税義務者一人当たりの総所得	現状より増加（2,601 千円以上）

■市内高校・大学の就職希望者に占める管内事業所への就職率

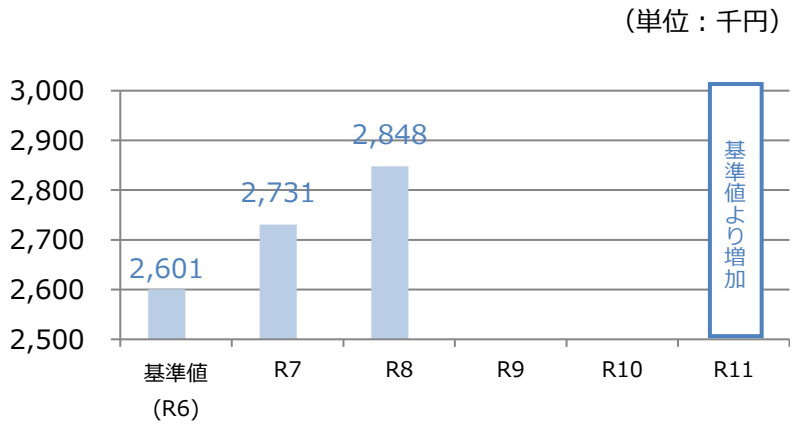


【出典】
高校…産業労政課（八戸公共職業安定所）提供データを基に作成
大学…政策推進課（八戸産学官連携推進会議）提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
・高校…八戸公共職業安定所管内の高等学校から同管内の企業に就職した新卒者数の割合
・大学…市内高等教育機関（八戸学院大学・八戸学院短期大学部・八戸工業大学・八戸工業高等専門学校）から八戸圏域の企業への就職者の割合

■納税義務者一人当たりの総所得

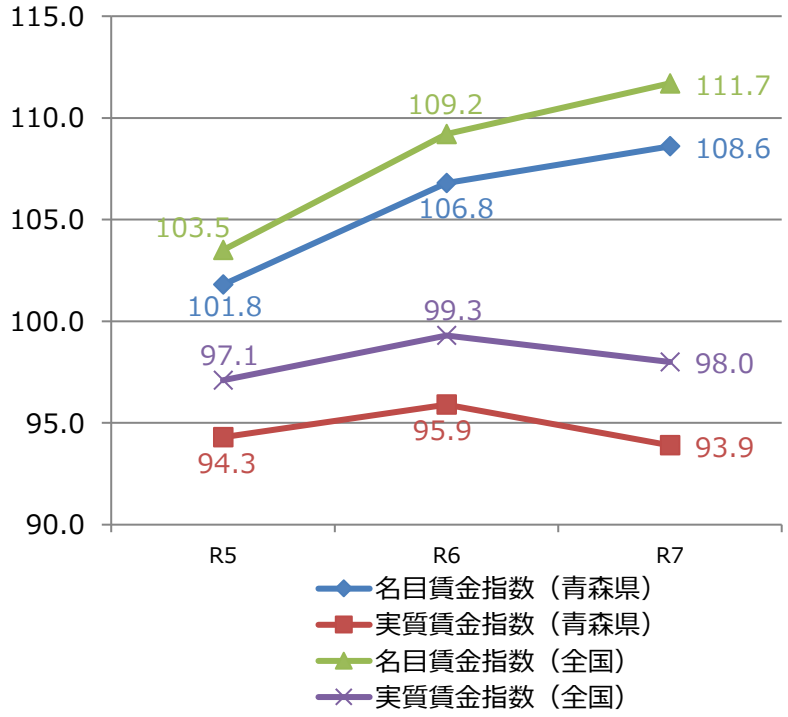


【出典】
住民税課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年７月１日

【指標の定義】
年収から各種の控除額を差し引いた所得額を納税義務者の数で除した数値

«参考データ»青森県の名目賃金指数及び実質賃金指数（現金給与総額）の推移



【出典】
厚生労働省及び青森県統計分析課公表データ（「毎月勤労統計調査」）を基に作成

【数値の定義】
・名目賃金指数＝当年の１人あたり平均現金給与総額÷基準年(令和２年)の１人あたり平均現金給与総額×100
・実質賃金指数＝名目賃金指数÷消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）×100

（２）展開する施策

【施策１】地域の活力を生むしごとの基盤強化

〇施策の方向性

■ 農林畜産業や水産業といった第一次産業や中小企業等の生産活動による地域産業が成長・発展していくためには、デジタルなどの新たな技術の力を活用したイノベーションによる生産性の向上や付加価値の創出、販路拡大等による稼ぐ力の向上を図るとともに、社会情勢等の変化に柔軟に対応できるよう、さまざまな支援を通して、当市の特色ある地域産業の基盤を強化します。

■ また、当市が有する食や自然、人などの地域資源の磨き上げを図るとともに、効果的な情報発信によるインバウンドを含めた国内外の観光需要の取り込みを図ることで、観光産業における稼ぐ力の強化を推進します。

〇主な個別施策

①持続可能な第一次産業の振興（10 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
八戸農業アカデミー関連事業	農業政策課	P 28
担い手総合支援事業	農業政策課	P 28
水産物流通加工振興事業	食の流通・ブランド推進室	P 28
漆産業振興事業	畜産林政課	P 28
畜産関連産業振興事業	畜産林政課	P 28
環境保全型農業普及促進事業	農業生産振興センター	P 29
水産業振興事業	水産事務所	P 29
八戸漁港漁船誘致推進事業	水産事務所	P 29
養殖業成長産業化支援事業	水産事務所	P 29
水産物卸売業務支援事業	水産事務所	P 29

②中小企業等の経営強化（８事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
GX・次世代エネルギー導入推進プロジェクト検討事業	商工課	P 30
中小企業被災資産復旧補助金交付事業	商工課	P 30
はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業	商工課	P 30
計画経営導入促進事業	商工課	P 30
地域企業課題解決支援事業	商工課	P 30
中小企業資金調達円滑化事業（低利融資制度・信用保証料補助）	商工課	P 31

中小企業振興補助金交付事業	商工課	P 31
中小企業新技術・新製品・新サービス開発等支援事業補助金	商工課	P 31

③販路の拡大と八戸港の物流機能の強化（8 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
ポートセールス事業	商工課	P 32
海外販路拡大事業	商工課	P 32
物流問題対策事業	商工課	P 32
八戸都市圏交流プラザ運営事業	観光課	P 32
物産販売促進事業	観光課	P 32
VISIT はちのへ活動支援事業	観光課	P 32
八戸フェア in 羽田空港	観光課	P 33
港湾整備促進事業	港湾河川課	P 33

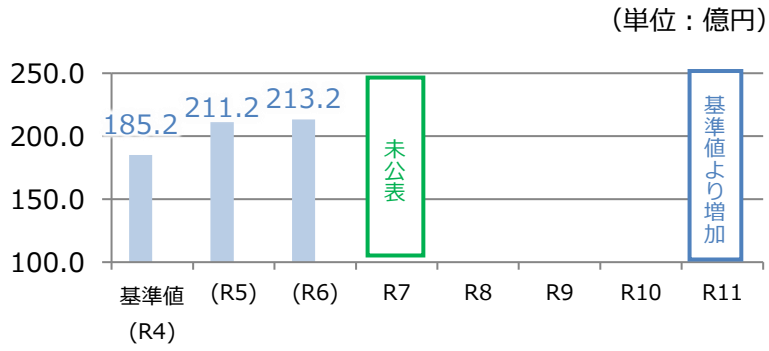
④観光産業の高付加価値化（7 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
食のまち・八戸推進事業	観光課	P 34
VISIT はちのへ活動支援事業	観光課	P 34
八戸都市圏交流プラザ運営事業	観光課	P 34
スピードスケート国際大会誘致事業	長根屋内スケート場	P 34
南郷新規作物研究事業	食の流通・ブランド推進室 農業生産振興センター	P 34
農業新ブランド育成事業	食の流通・ブランド推進室	P 35
水産物流通加工振興事業	食の流通・ブランド推進室	P 35

○重要業績評価指標（KPI）

項目	目標値
①農業産出額	現状より増加（185.2 億円以上）
②八戸港水揚げ金額	128 億円
③八戸港コンテナ貨物取扱量（実入り）	28,000TEU
④中小企業の経営強化に関する補助制度（中小企業振興補助金等）の活用件数	10 件(R7～R11 の累計)
⑤観光消費額	1,494 億円

■農業産出額

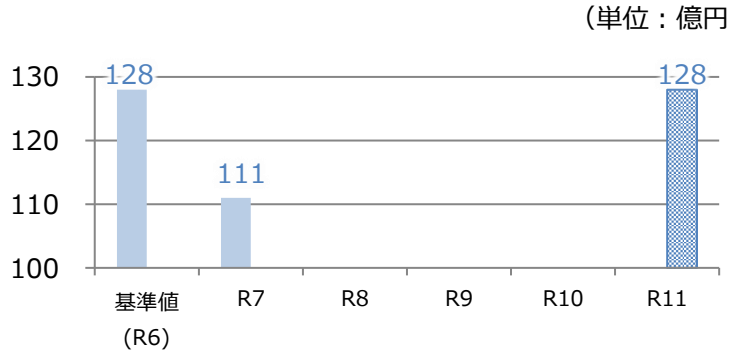


【出典】
農業政策課（農林水産省大臣官房統計部）提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年集計

【指標の定義】
八戸市で生産された米、野菜、果実、花き、畜産物、加工農産物等の価値額の推計値

■八戸港水揚げ金額

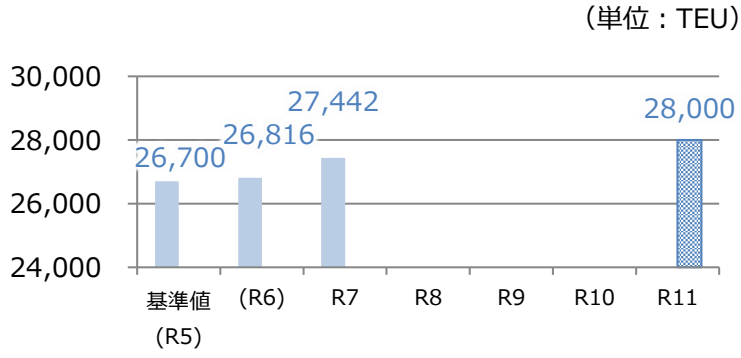


【出典】
水産事務所提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年集計

【指標の定義】
八戸港に水揚げされ、八戸市魚市場で取引される生鮮魚介類等の金額

■八戸港コンテナ貨物取扱量（実入り）

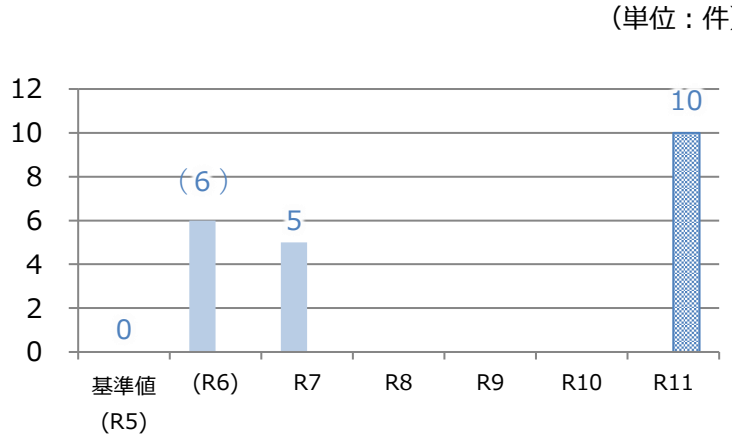


【出典】
商工課（八戸港国際物流拠点化推進協議会）提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
八戸港で荷役された実入りのコンテナ取扱本数（20 フィートコンテナ換算）

■中小企業の経営強化に関する補助制度（中小企業振興補助金等）の活用件数

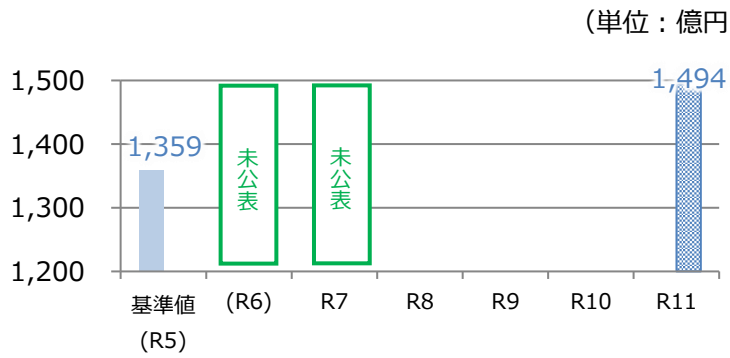


【出典】
商工課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
中小企業の経営強化に関する補助制度（中小企業振興補助金等）の活用件数(R7～R11 の累計)

■観光消費額



【出典】
観光課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年集計

【指標の定義】
当市を訪れた観光客が旅行にあたって消費した金額の推計値

【施策２】しごとと人をつなげる

○施策の方向性

■ 個人の事情やライフスタイルに合った働き方を実現するため、職場の意識改革による就労環境の改善や就労希望者のニーズの把握のほか、女性が働きやすい職場環境の整備などにより、誰もが働きやすい環境づくりを目指します。

■ 人口減少の局面において、将来にわたって地域産業を維持していくためには、企業が求める人材のマッチング・確保など、限られた労働力でより多くの成果を生み出す必要があることから、高度人材や専門人材、エッセンシャルワーカー等の人材の確保・育成に加え、外国人材の活用に対する支援の充実を図ります。

○主な個別施策

①多様な働き方の実現（4 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
女性チャレンジ講座開催事業	市民連携推進課	P 36
女性活躍推進支援事業	市民連携推進課	P 36
中小企業振興補助金交付事業	商工課	P 36
障がい者就労支援事業	障がい福祉課	P 37

②人材の確保･育成の促進（6 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
八戸産学官連携推進事業	政策推進課	P 38
若者力形成インターンシップ事業	若者活躍応援課	P 38
フロンティア八戸職業訓練助成事業	産業労政課	P 38
技能者養成事業	産業労政課	P 38
地域事業所人材獲得等支援事業	産業労政課	P 39
八戸市社内人材育成支援事業	産業労政課	P 39

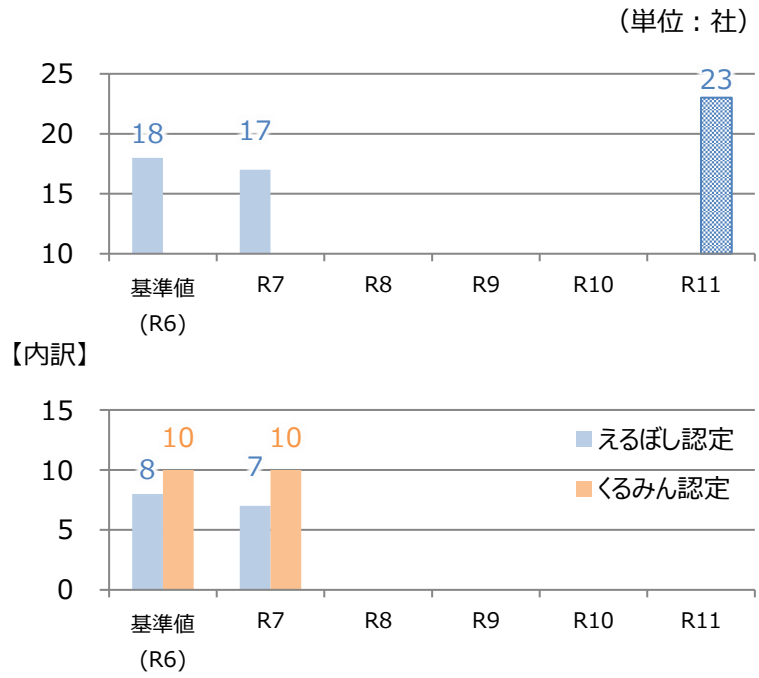
③外国人材の活用の促進（3 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
八戸産学官連携推進事業	政策推進課	P 40
多文化共生推進事業	市民連携推進課	P 40
外国人介護人材受入施設等環境整備事業	介護保険課	P 40

○重要業績評価指標（KPI）

項目	目標値
①えるぼし認定・くるみん認定を受けた市内企業数	23 社
②就職率（八戸公共職業安定所管内全体の率）	40.0%
③事業を通じた若手社員の職場定着率	85.0%
④外国人留学生数	54 人
⑤外国人材受入に関するセミナーへの参加企業数（延べ数）	100 社

■えるぼし認定・くるみん認定を受けた市内企業数

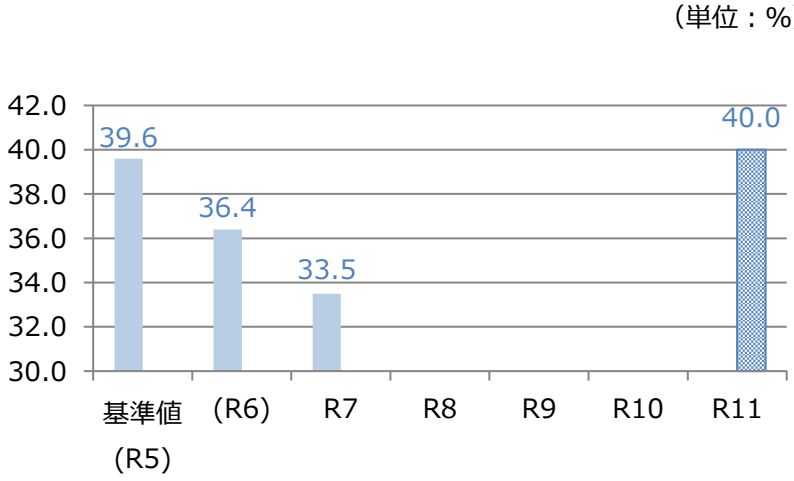


【出典】
・えるぼし認定…
市民連携推進課提供データを基に作成
・くるみん認定…
産業労政課提供データを基に作成
（ともに厚生労働省公表データ）

【基準日・期間】
各年度１月時点

【指標の定義】
・えるぼし認定…女性の活躍推進に取り組む企業として厚生労働省の認定（えるぼし認定）を受けた市内企業数
・くるみん認定…子育て支援に積極的に取り組む企業として厚生労働省の認定（くるみん認定）を受けた市内企業数

■就職率（八戸公共職業安定所管内全体の率）

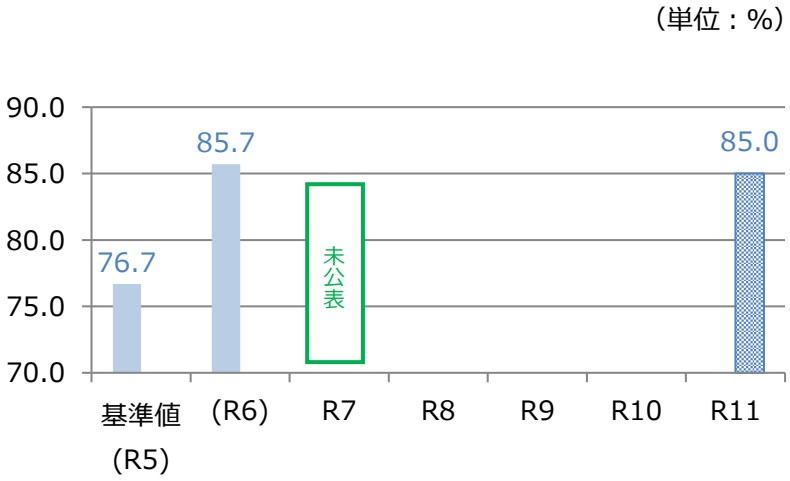


【出典】
産業労政課（八戸公共職業安定所）提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
八戸公共職業安定所における求職者数に対する就職者数の比率

■事業を通じた若手社員の職場定着率



【出典】
産業労政課提供データを基に作成

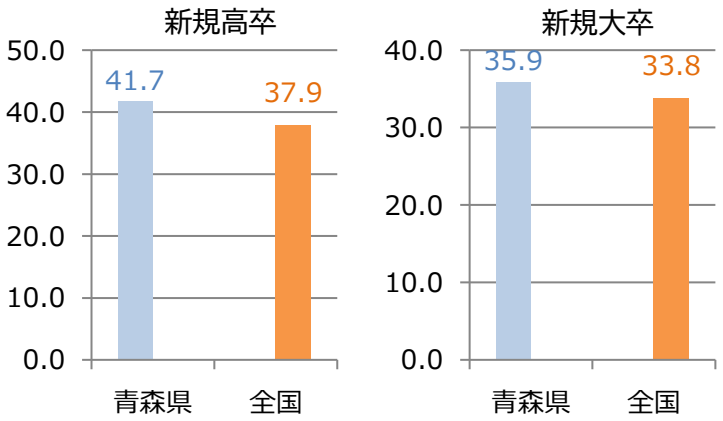
【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
「新入・若手社員フォロー1 日セミナー」受講者の 1 年後の職場定着率

«参考データ»

令和４年３月新規高･大卒就職者の就職後３年以内の離職率（青森県全体）

（単位：%）

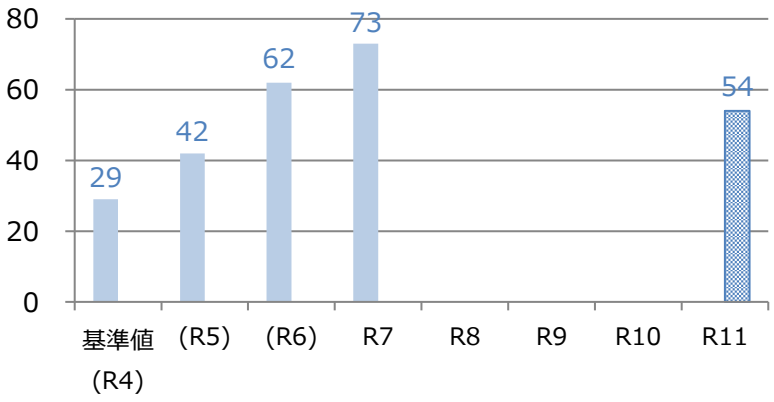


【出典】
厚生労働省青森労働局
公表データを基に作成

【離職率の集計の考え方】
事業所からハローワークに対して、雇用保険の加入届が提出された新規被保険者資格取得者の生年月日、資格取得加入日等、資格取得理由から学歴ごとに新規学卒者と推定される就職者数を算出し、更にその離職日から離職者数･離職率を算出しているもの。

■外国人留学生数

（単位：人）

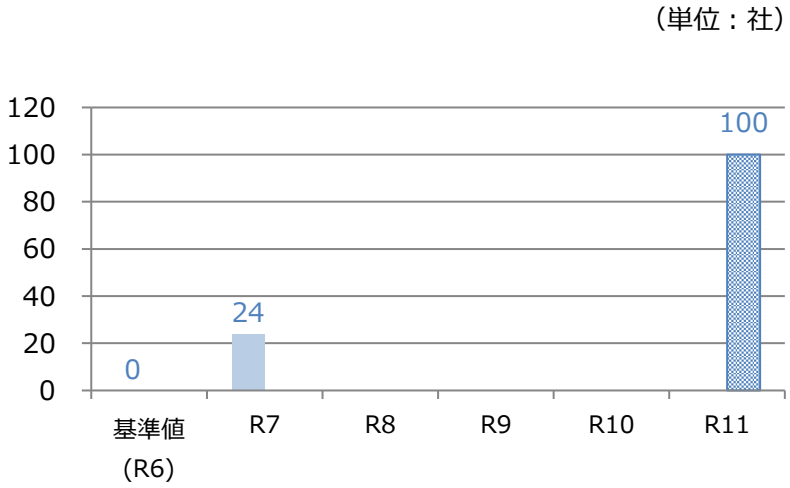


【出典】
政策推進課（八戸産学官連携推進会議）
提供データを基に作成

【基準日･期間】
各年度集計

【指標の定義】
市内高等教育機関（八戸学院大学･八戸学院短期大学部･八戸工業大学･八戸工業高等専門学校）への外国人留学生の人数

■外国人材受入に関するセミナーへの参加企業数（延べ数）



【出典】
政策推進課（八戸産学官連携推進会議）提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
八戸産学官連携推進会議が主催するセミナーへの参加企業数（R7～事業開始）

【施策３】しごとの場や機会を創出する

○施策の方向性

■ 陸海空の交通結節点である当市の地の利を活かした企業立地を推進するため、八戸北インター第２工業団地の分譲開始に伴う積極的なトップセールスや若者や女性に選ばれる企業を増やしていくことで、産業構造の多角化と魅力的な雇用の拡大を図ります。

■ また、目まぐるしく時代が変化する中で、地域内外の消費者が求めるニーズを見極めつつ、地域産業の裾野拡大や省エネ・再エネをはじめとする新たな事業への展開など、チャレンジする意欲の高い事業者や若者等に対して、新事業展開への支援や創業・起業支援を実施するとともに、地域内でのイノベーション創出を促進します。

○主な個別施策

①企業誘致の促進と雇用の拡大（5 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
ＩＴ産業集積促進事業	産業労政課	P 41
企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業	産業労政課	P 41
企業誘致促進事業	産業労政課	P 41
新産業団地整備・開発推進事業	産業労政課	P 41
八戸市貸工場運営事業	産業労政課	P 41

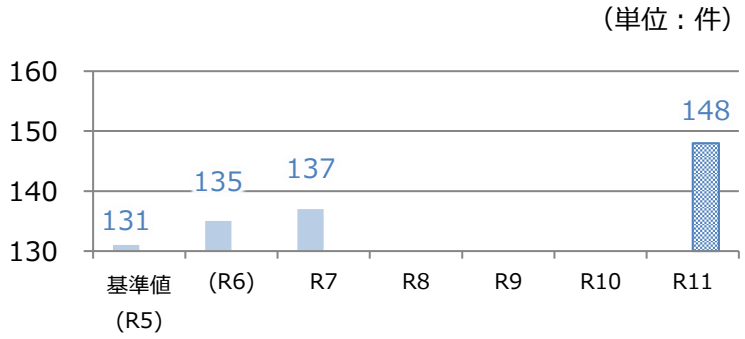
②事業者や若者のチャレンジへの支援（7 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
はちのへ未来創造塾運営事業	若者活躍応援課	P 42
（仮称）ハチノヘ DX ラボ推進事業	情報政策課	P 42
新規会社設立補助事業	商工課	P 42
八戸市創業融資利子補給事業	商工課	P 42
はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業	商工課	P 42
中心商店街空き店舗・空き床解消事業	まちづくり推進課	P 42
地域脱炭素推進事業	環境政策課	P 43

○重要業績評価指標（KPI）

項目	目標値
①企業誘致件数	148 件
②はちのへ創業・事業継承サポートセンターを活用して起業・創業した件数	220 件 (R7～R11 の累計)
③「はちのへ未来創造塾」における新ビジネスプラン実行件数(累計)	18 件

■企業誘致件数

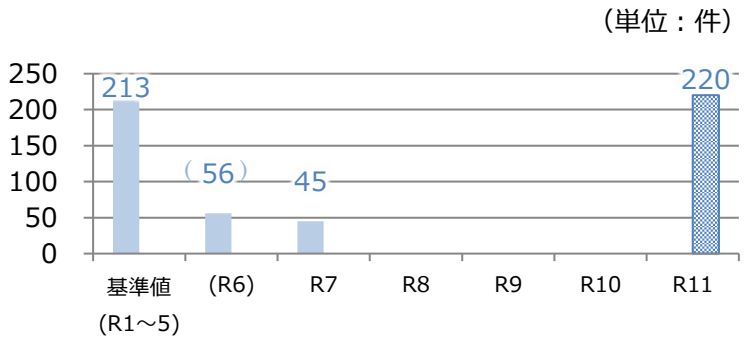


【出典】
産業労政課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
誘致認定の件数の累計

■はちのへ創業・事業継承サポートセンターを活用して起業・創業した件数

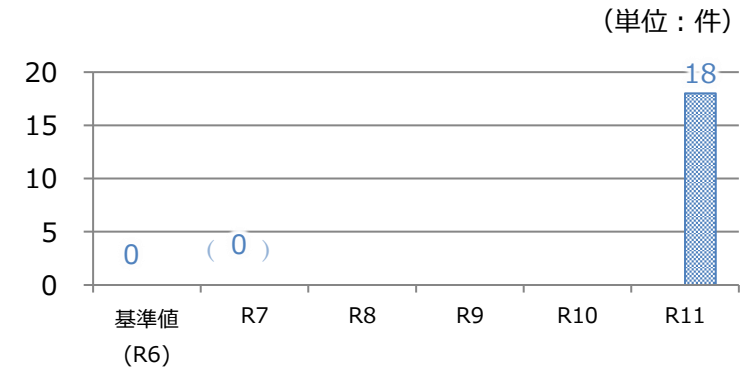


【出典】
商工課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
はちのへ創業・事業継承サポートセンターを活用して起業・創業した件数（R7～11 の累計）
※R6 年度は累計期間外のため（）で表示

■「はちのへ未来創造塾」における新ビジネスプラン実行件数(累計)



若者活躍応援課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
「はちのへ未来創造塾」塾生による新ビジネスプラン実行件数（R8 年度から事業実施）

【基本目標３】八戸に住み続けたくなる、共に生きる「まち」をつくる

- ✓ 結婚・妊娠・出産から子育てにわたって、一体的な支援体制の充実により、誰一人取り残さない、切れ目ない包括的支援に取り組み、安心してこどもを生み育てられる環境づくりを推進します。
- ✓ 性別や年齢、国籍等に関わらず誰もが自分らしく暮らすことができるまちを目指すとともに、市民をはじめ、産学官金労言等のステークホルダーなどと団結して、ワンチームで住みよいまちづくりに取り組みます。
- ✓ 防災・防犯体制や地域の医療体制の強化により住み慣れた地域で安全・安心で健やかに暮らすことができる環境づくりを推進するとともに、公共交通の利便性向上やデジタル技術を活用したまちづくり、ICT や AI 等を活用した行政サービスの提供など、誰もが便利で快適な生活環境を地域が一体となって整備します。
- ✓ これらの取組を通して、人口減少下にあってもなお、社会を機能させる適応策を講じながら、誰もが住みたい・住み続けたいと思えるまちづくりに取り組みます。

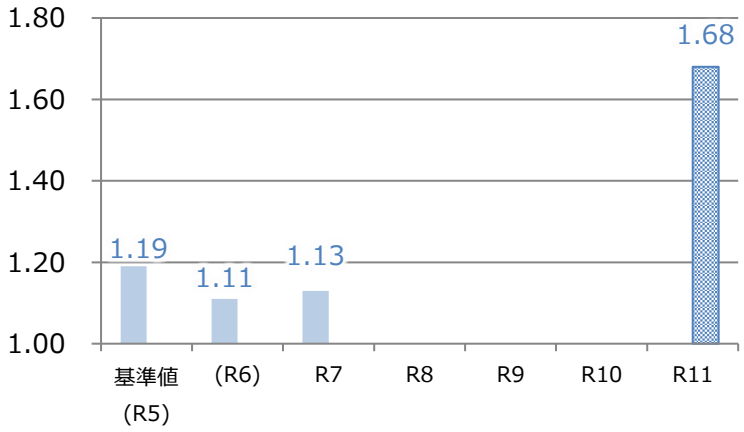
KPI の推移状況

- ✓ 【施策１　生き生きと自分らしく暮らせる環境づくり】「女性チャレンジ講座受講生講座満足度」(P38)は基準値から低下しているが、講座時間の長さや講師が女性のみという点に対するご意見があったことから、留意のうえ引き続き講座運営を行う。
- ✓ 【施策３　快適な生活環境の維持】「リサイクル率」(P49)は、目標値に対し停滞が見られている。新聞・雑誌などの紙媒体の利用減少に加え、ペーパーレス化が進むなど、紙の排出量自体が減少していることが主な要因の一つと考えられることから、プラスチックリサイクルの実施体制の整備を早期に進め、プラスチックリサイクルの実施を目指していく。

（１）数値目標

項目	目標値
① 合計特殊出生率	1.68
① 三大生活習慣病の標準化死亡比	・悪性新生物　男性・女性ともに 100 ・心疾患　男性・女性ともに 100 ・脳血管疾患　男性・女性ともに 100

■合計特殊出生率



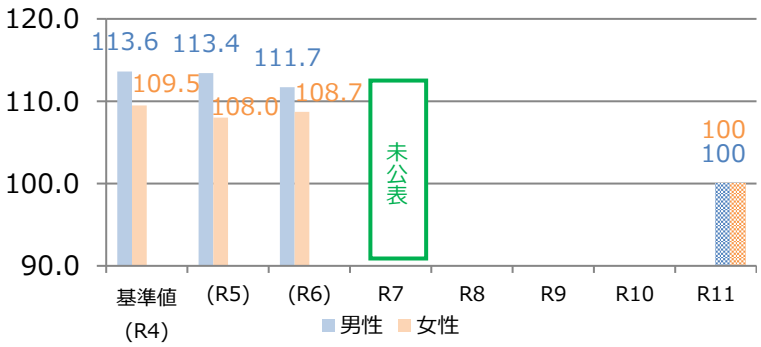
【出典】
こども未来課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年集計

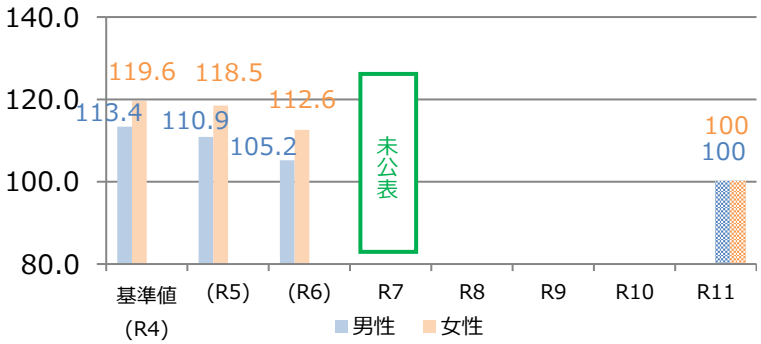
【指標の定義】
15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女性が一生の間に平均何人の子どもを生む結果になるかを計算したもの

■三大生活習慣病の標準化死亡比

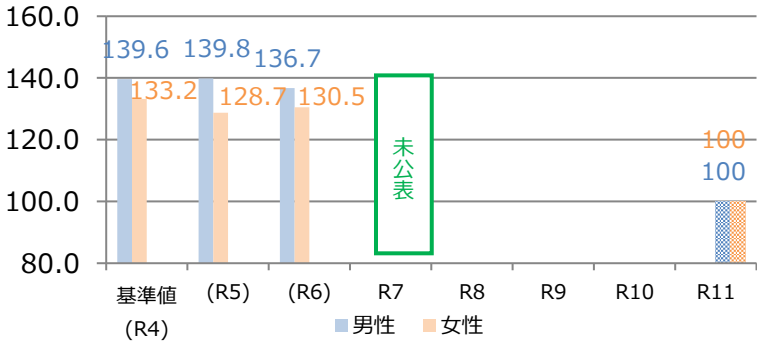
（悪性新生物）



（心疾患）



（脳血管疾患）



【出典】
健康づくり推進課提供データ（青森県保健統計年報）を基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
三大生活習慣病（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）による死亡状況について、全国を 100 として比較したもの

（２）展開する施策

【施策１】生き生きと自分らしく暮らせる環境づくり

〇施策の方向性

■ 多様化する地域課題に対して、市民をはじめとした産学官金労言等が自分ごととして解決策を考え、共に支え合いながら取り組むワンチームをつくるため、協働・共創のまちづくりの推進を図ります。

■ 男女共同参画社会の推進や多文化共生、性のあり方の多様性への理解促進のほか、高齢者・障がい者等の社会参加を促進し、誰一人取り残すことなく、生き生きと自分らしく暮らすことができる環境をつくります。

■ 自己実現や精神的な充足感、他者との良好なつながりなどによる幸福を感じることができるまちづくりを推進します。

■ 医療や福祉等と連携した総合的な健康づくり対策や市民の健康づくりの推進などの健康寿命の延伸に向けた施策に取り組みます。

〇主な個別施策

①協働・共創のまちづくりの推進（13 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
「元気な八戸づくり」市民提案制度事業	市民連携推進課	P 44
「地域の底力」実践プロジェクト促進事業	市民連携推進課	P 44
協働のまちづくり研修会の開催事業	市民連携推進課	P 44
市長との公民館サロン開催事業	市民連携推進課	P 44
住民活動保険制度	市民連携推進課	P 44
地域担当職員制度事業	市民連携推進課	P 44
町内会等振興交付金事業	市民連携推進課	P 44
八戸圏域住民活動促進事業	市民連携推進課	P 45
八戸市連合町内会活動活性化交付金事業	市民連携推進課	P 45
連合町内会連絡協議会連携事業	市民連携推進課	P 45
重層的支援体制整備事業	福祉政策課	P 45
地域の安心・安全見守り活動推進事業（高齢者・障がい者等）	福祉政策課	P 45
地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	社会教育課	P 45

②高齢者・障がい者等への支援の充実、社会参加の促進（9 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
八戸市スマホサポーター制度促進事業	情報政策課	P 46
シルバー人材センター育成・援助事業	産業労政課	P 46
鷗盟大学運営事業	高齢福祉課	P 46
高齢者生きがいと健康づくり推進事業	高齢福祉課	P 46

市民後見推進事業	高齢福祉課	P 46
認知症サポーター養成・活動促進事業	高齢福祉課	P 47
老人クラブ活動支援事業	高齢福祉課	P 47
障がい者就業支援事業	障がい福祉課	P 47
がん患者医療用補整具購入費助成事業	健康づくり推進課	P 47

③男女共同参画や多文化共生及び多様な性のあり方を尊重する社会づくり（8 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
LGBT 等理解促進事業	市民連携推進課	P 48
男女共同参画意識啓発講演会開催事業	市民連携推進課	P 48
男女共同参画意識啓発事業	市民連携推進課	P 48
男女共同参画情報発信事業	市民連携推進課	P 48
多文化共生推進事業	市民連携推進課	P 48
日本語教育支援事業	学校教育課	P 49
青少年海外派遣交流事業	教育指導課	P 49
国際理解教育・英語教育推進事業	総合教育センター	P 49

④健康づくりの推進（8 事業）

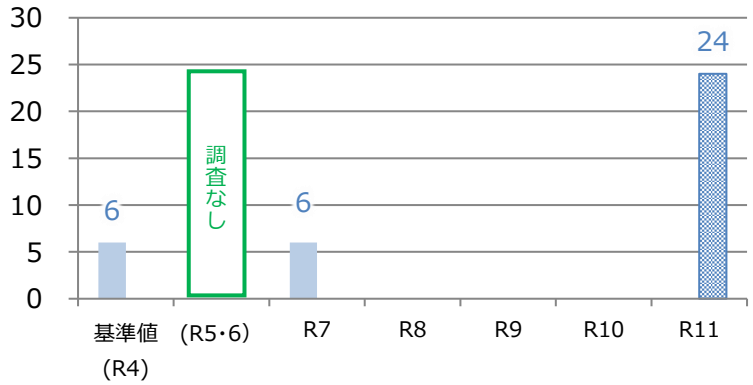
事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
介護予防センター運営事業	高齢福祉課	P 50
地域包括支援センター運営事業	高齢福祉課	P 50
がん検診事業	健康づくり推進課	P 50
健康づくり団体等活動支援事業	健康づくり推進課	P 50
健康はちのへ 21 ポイントアプリ事業	健康づくり推進課	P 50
健康教育事業（母子）	すくすく親子健康課	P 51
健康相談事業（母子）	すくすく親子健康課	P 51
性と健康の相談センター事業	すくすく親子健康課	P 51

○重要業績評価指標（KPI）

項目	目標値
①「元気な八戸づくり」市民奨励金を活用した団体のうち３年後に活動がより活発になった団体数（延べ数）	24 団体
②「八戸市スマホサポーター制度」による認定スマホサポーター数（累計）	60 人
③女性チャレンジ講座受講生講座満足度	現状より上昇（93.65%以上）
④特定健診の受診率	39.0%
⑤がん検診精密検査受診率	すべて 100%

■「元気な八戸づくり」市民奨励金を活用した団体のうち３年後に活動がより活発になった団体数（延べ数）

（単位：団体）



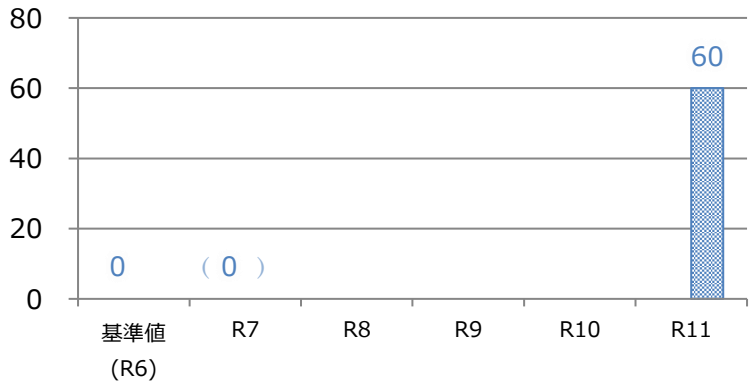
【出典】
市民連携推進課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度８月末

【指標の定義】
毎年度８月に、４年前に奨励金を活用した団体に調査
※R5・R6…4 年前の R1・R2 はコロナ禍により事業を実施していないため、調査対象なし

■「八戸市スマホサポーター制度」による認定スマホサポーター数（累計）

（単位：人）

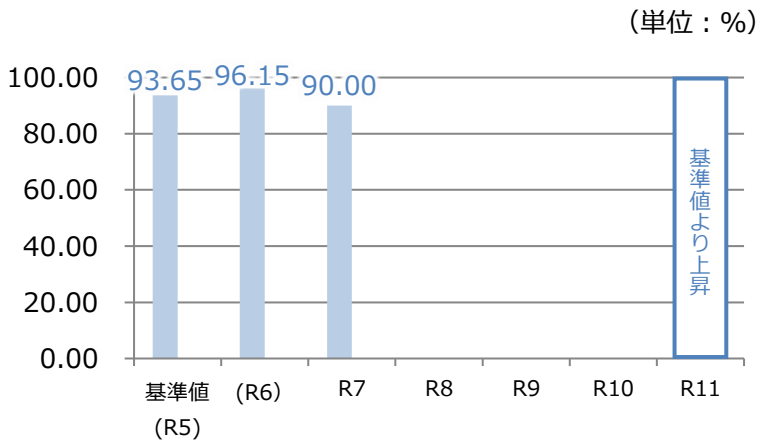


【出典】
情報政策課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
「八戸市スマホサポーター制度」により認定されたスマホサポーター数の累計（R8 年度から事業実施）

■女性チャレンジ講座受講生講座満足度

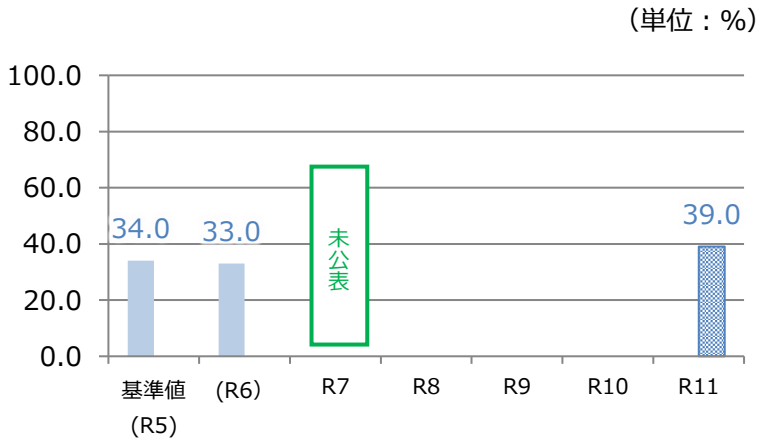


【出典】
市民連携推進課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
毎年度最終講座のアンケートで「とても良かった」「良かった」と回答した人の割合

■特定健診の受診率

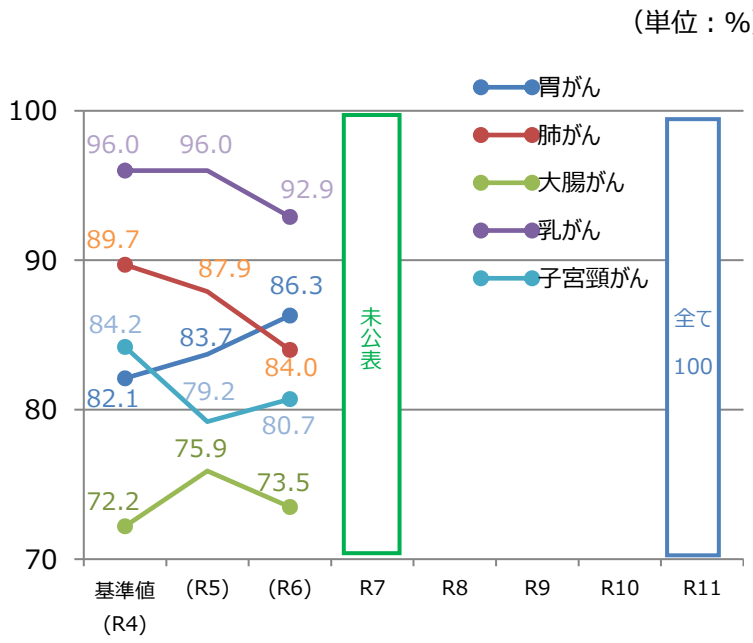


【出典】
国保年金課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度末日

【指標の定義】
40 歳以上の国保加入者のうち、年度内に国保資格を喪失した者、途中加入した者、施設入所者等を除いた特定健診受診者

■がん検診精密検査受診率



【出典】
健康づくり推進課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
がん検診を受診した結果、精密検査が必要と判断された人のうち、精密検査を受けた人の割合

【施策２】安心してこどもを産み育てられる環境の整備

○施策の方向性

■ 妊娠から子育て期にわたって安心してこどもを産み育てられる環境の充実を図るとともに、必要な人に必要なサービスが行き届くように、子育て情報の発信や手続きの電子化等の取組を推進します。また、困難な状況にあるこどもとその家庭が安心して日常生活や学校生活を送ることができるよう、誰一人取り残されない支援体制の構築を図ります。

■ また、結婚を希望する人が、出会いの機会を得られ、希望をかなえることができるよう、出会いの機会の創出や結婚活動への支援を行います。

■ ワーク・ライフ・バランスの実現のため、家庭や職場等における男女共同参画意識の醸成や仕事と家庭が両立できる職場環境の整備のほか、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）等の是正・解消を推進します。

○主な個別施策

①妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実（35 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
医療的ケア児等総合支援事業	障がい福祉課	P 52
乳幼児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	こども未来課	P 52
つどいの広場事業	こども未来課	P 52
医療的ケア児保育支援事業	こども未来課	P 52
軽・中程度障がい児保育事業	こども未来課	P 52
子育てサロン支援事業	こども未来課	P 52
赤ちゃんお出かけ応援事業	こども未来課	P 53
地域子育て支援センター事業	こども未来課	P 53
病児・病後児保育事業（病児保育ネット予約サービス事業）	こども未来課	P 53
第２子以降の保育料無償化事業	こども未来課	P 53
ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課	P 53
子ども医療費助成事業	子育て支援課	P 53
子育て情報配信事業	子育て支援課	P 54
放課後児童健全育成事業	子育て支援課	P 54
こども家庭センター事業	こども家庭相談室 すくすく親子健康課	P 54
子ども家庭見守り訪問事業	こども家庭相談室	P 54
親子関係形成支援事業	こども家庭相談室	P 54
親子交流支援事業	こども家庭相談室	P 55
母子家庭等対策総合支援事業（親子交流支援事業以外）	こども家庭相談室	P 55
妊産婦アクセス支援事業	すくすく親子健康課	P 55
小児慢性特定疾病通院費助成事業	すくすく親子健康課	P 56

妊娠出産包括支援事業	すくすく親子健康課	P 56
不育症検査費用助成事業	すくすく親子健康課	P 56
不妊専門相談センター事業	すくすく親子健康課	P 56
母子健康診査事業	すくすく親子健康課	P 56
はちまむ応援金事業	すくすく親子健康課	P 56
健康教育事業（母子）	すくすく親子健康課	P 56
健康相談事業（母子）	すくすく親子健康課	P 56
八戸市奨学金制度	学校教育課	P 56
校内教育支援センター支援員設置事業	教育指導課	P 57
幼保小連携推進事業	教育指導課	P 57
教育相談・適応指導教室事業	こども支援センター	P 57
特別支援教育アシスト事業	こども支援センター	P 57
特別支援教育看護支援員配置事業	こども支援センター	P 58
特別支援教育推進事業	こども支援センター	P 58

②出会いの場の創出と結婚支援の充実（1 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
はちのへ縁結びプロジェクト事業	若者活躍応援課	P 59

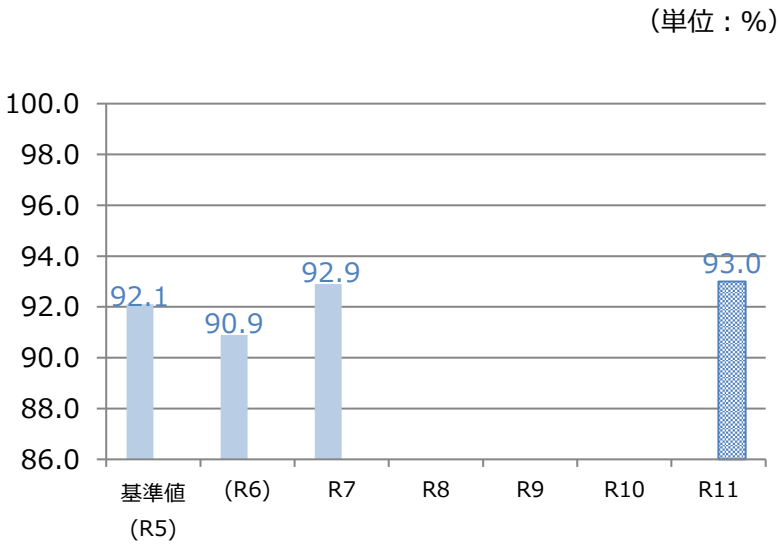
③ワーク・ライフ・バランスの推進（1 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
ロールモデルＰＲ事業	市民連携推進課	P 60

○重要業績評価指標（KPI）

項目	目標値
①妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合	93.0%
②放課後児童クラブ待機児童数	0 人
③この地域で子育てをしたいと思う親の割合	93.1%
④婚姻率（人口千人対）	現状より増加（3.2 以上）
⑤「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」との固定的な役割分担の解消に対する理解度	現状より上昇（68.5%以上）

■妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合

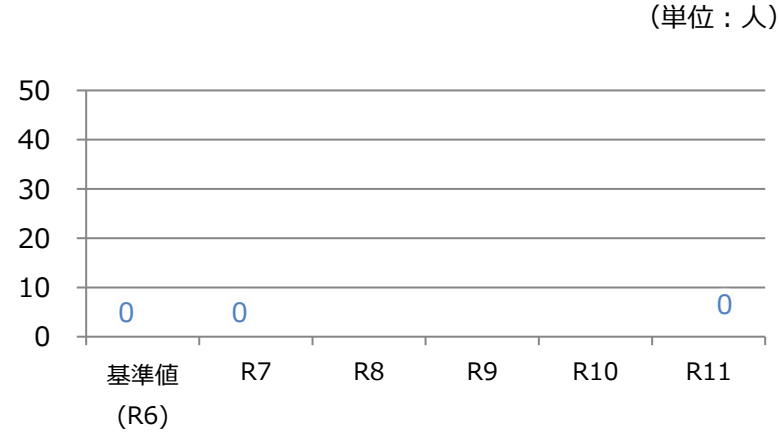


【出典】
すくすく親子健康課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
「親と子の健康度調査アンケート」において、妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合

■放課後児童クラブ待機児童数

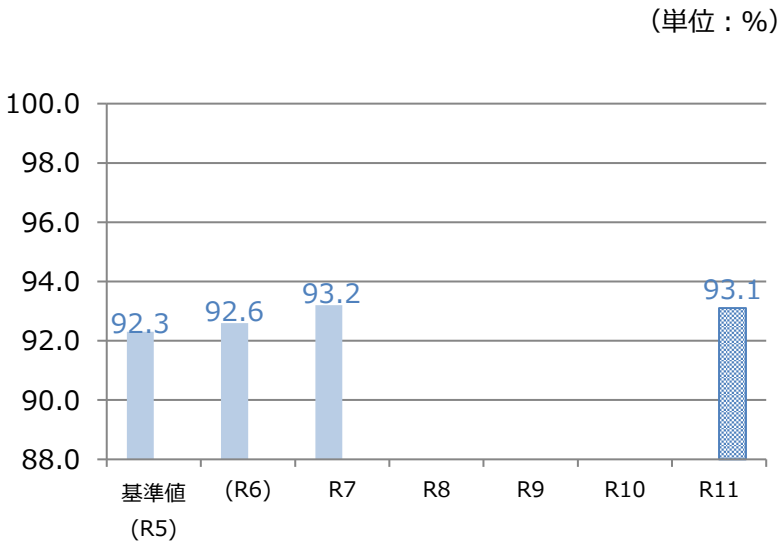


【出典】
子育て支援課（こども家庭庁）提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年５月１日

【指標の定義】
放課後児童クラブの対象児童で、利用申し込みをしたが利用（登録）できなかった児童数

■この地域で子育てをしたいと思う親の割合

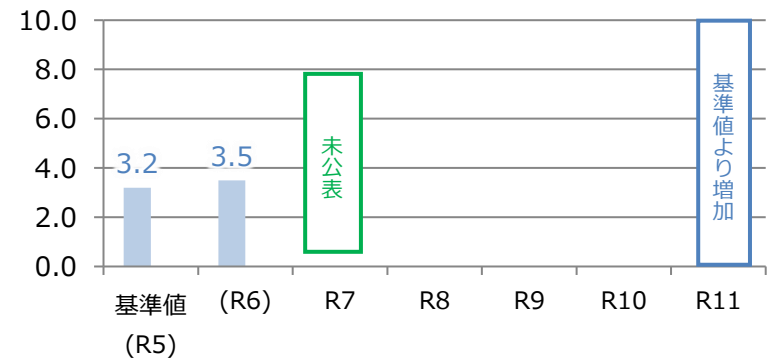


【出典】
すくすく親子健康課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
「親と子の健康度調査アンケート」において、「この地域で子育てをしたい」「どちらかといえばこの地域で子育てをしたい」と思う親の割合

■婚姻率（人口千人対）

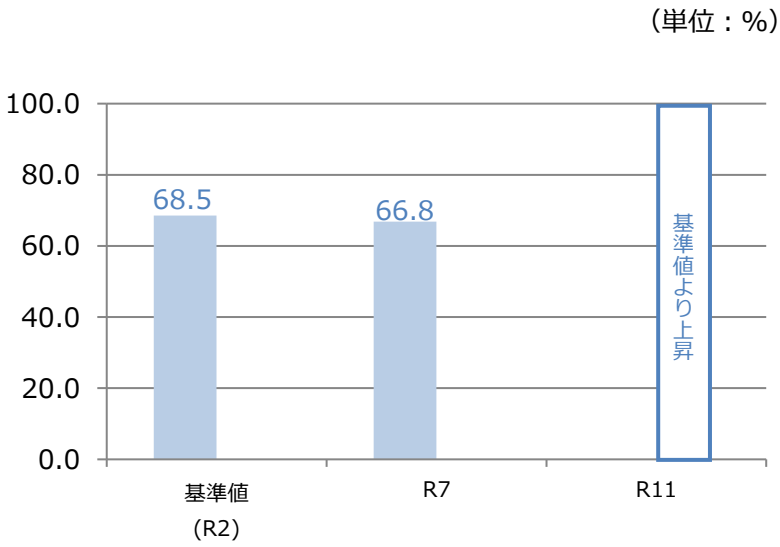


【出典】
若者活躍応援課提供データ（青森県保健統計年報）を基に作成

【基準日・期間】
各年 10 月 1 日

【指標の定義】
（年間婚姻届出件数÷10 月 1 日現在人口)×1,000

■「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」との固定的な役割分担の解消に対する理解度



【出典】
市民連携推進課提供データを基に作成

【基準日・期間】
５年毎

【指標の定義】
５年毎に行われる男女共同参画に関する市民アンケートにおいて、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどう考えるかの設問に対し、「反対」又は「どちらかといえば反対」と回答した人の割合

【施策３】快適な生活環境の維持

○施策の方向性

■ 日常生活や市民サービスにデジタル技術を取り入れることで、市民生活における利便性の向上を図るとともに、デジタル化の進展により生じる情報格差の是正やデジタルリテラシーの向上などを図り、誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向けた取組を推進します。

■ 人口減少に対応したコンパクトなまちづくりに向けた取組を推進するとともに、八戸圏域住民の足となる公共交通の維持確保に向けて、データを活用した検証や多様な主体が参画した利便性と持続性の高い公共交通ネットワークの構築を推進します。

■ 環境・社会・経済のバランスのとれたグリーン社会の実現を目指し、市民の生活環境を守りつつ、地球温暖化対策や循環型社会の形成に向けた取組を推進します。

○主な個別施策

①市民サービスのデジタル化とデジタル技術を活かしたまちづくりの推進（3 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
AI・DX 人材育成＋AI プラットフォーム構築事業	情報政策課	P 61
ＩＣＴ活用による業務効率化推進事業	情報政策課	P 61
八戸市窓口業務改革プロジェクト	情報政策課	P 61

②コンパクトなまちづくりの推進（11 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
十三日町・十六日町地区再整備支援事業	まちづくり推進課	P 62
中心街ストリートデザイン事業	まちづくり推進課	P 62
中心市街地商業等活性化事業	まちづくり推進課	P 62
本八戸駅通り地区整備事業	まちづくり推進課	P 62
湊地区まちづくり事業	まちづくり推進課	P 62
中心商店街空き店舗・空き床解消事業	まちづくり推進課	P 63
八戸まちなか広場事業	八戸ポータルミュージアム	P 63
文化事業と商業機能との連携事業	文化創造推進課	P 63
無電柱化推進事業	道路建設課	P 63
八戸駅西地区エリアマネジメント導入支援事業	都市政策課	P 63
八戸駅前広場整備事業	都市政策課	P 63

③多様な交通手段による交通ネットワークの維（6 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
八戸圏域地域公共交通計画推進事業	政策推進課	P 64

バス路線維持対策補助事業	政策推進課	P 64
ＪＲ八戸線利活用事業	政策推進課	P 64
コミュニティ交通支援事業	政策推進課	P 64
八戸駅前広場整備事業	都市政策課	P 64
市営バス運転手確保対策事業	運輸管理課	P 64

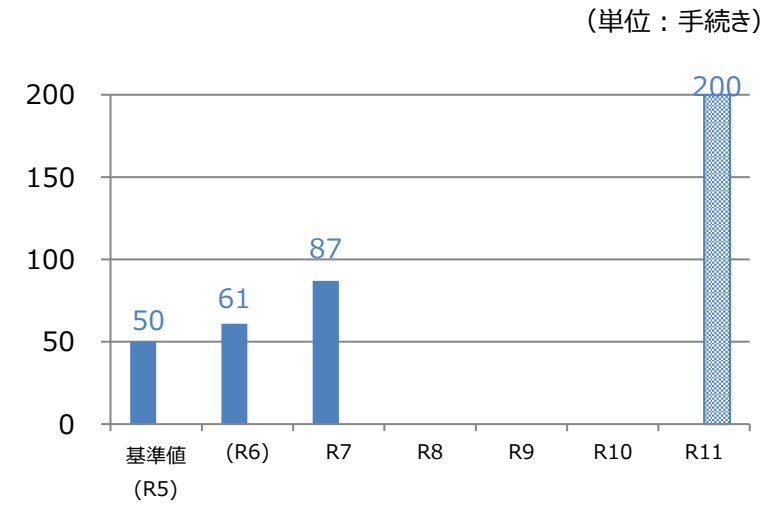
④地球環境に優しいまちづくり（5 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
エネルギーシステム転換支援事業	産業労政課	P 65
ゼロカーボンオフィス推進事業	環境政策課	P 65
海洋ごみ回収事業	環境政策課	P 65
地球温暖化対策理解促進事業	環境政策課	P 65
地域脱炭素推進事業	環境政策課	P 65

○重要業績評価指標（KPI）

項目	目標値
①オンライン化した行政手続きの数	200 手続き
②行政手続きのオンライン化による利用者満足度	87.0%
③空き店舗・空き地率（中心市街地）	16.1%
④居住誘導区域内の人口割合	50.0%
⑤地域公共交通の利用者数	34.4 回/人・年
⑥リサイクル率	36.2%

■オンライン化した行政手続きの数

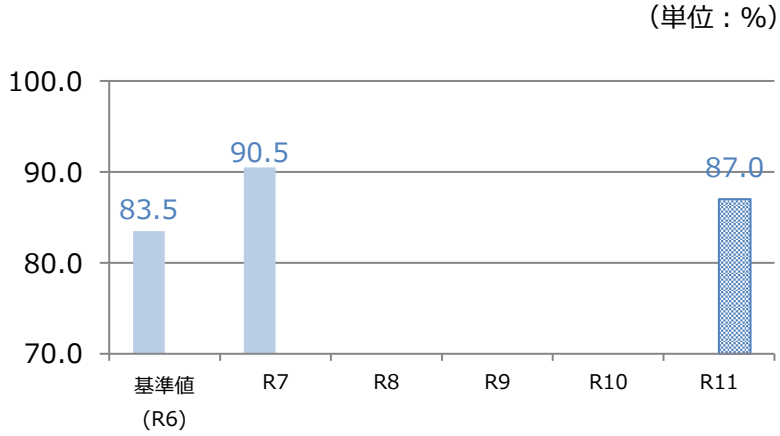


【出典】
情報政策課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度末日

【指標の定義】
マイナポータル（ぴったりサービス）を活用した各種手続きのオンライン化をはじめ、市民ニーズに応じた手続きなどのオンライン化を進めた手続き数の総計。

■行政手続きのオンライン化による利用者満足度

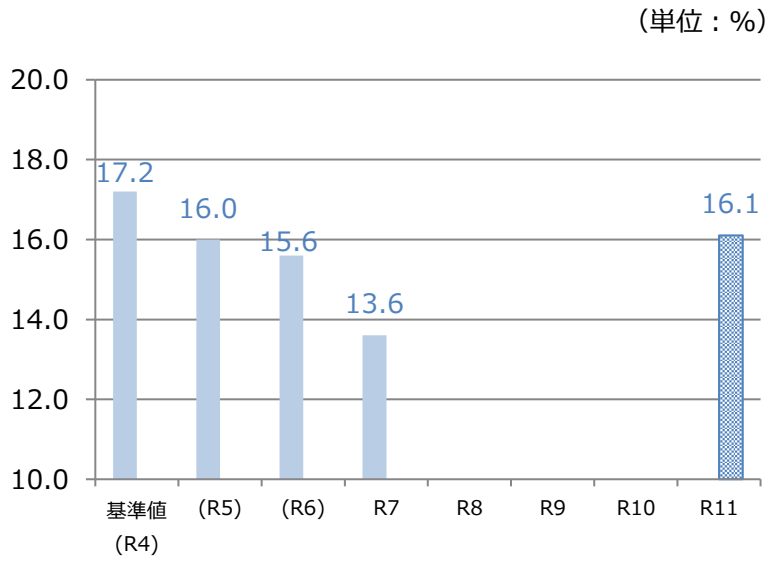


【出典】
情報政策課提供データを基に作成

【基準日・期間】
年度末

【指標の定義】
«基準値»
行政手続のオンライン申請を利用した方を対象にした、LINE のアンケート機能による満足度調査
«R7 以降»
行政手続のオンライン申請を利用した方を対象にしたアンケートによる満足度調査（年 2 回実施）
※はちのへスマート窓口利用者満足度

■空き店舗・空き地率（中心市街地）

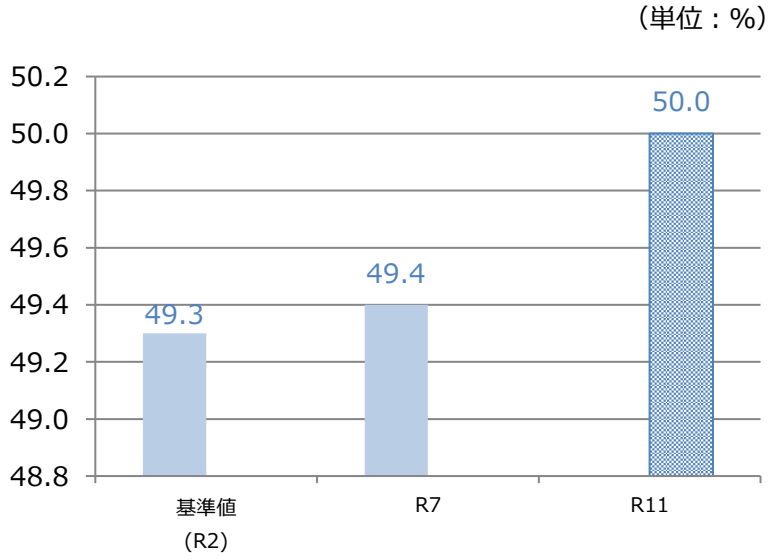


【出典】
まちづくり推進課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年２月

【指標の定義】
中心商店街における１階路面部分の空き店舗・空き地の割合

■居住誘導区域内の人口割合

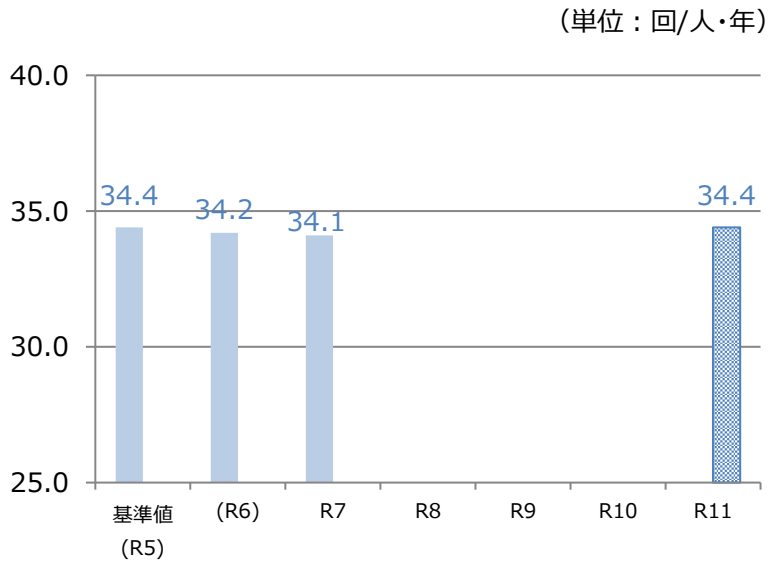


【出典】
都市政策課提供データを基に作成

【基準日・期間】
５年毎

【指標の定義】
居住誘導区域人口（建物用途による按分人口）に対する行政区域人口の割合

■地域公共交通の利用者数

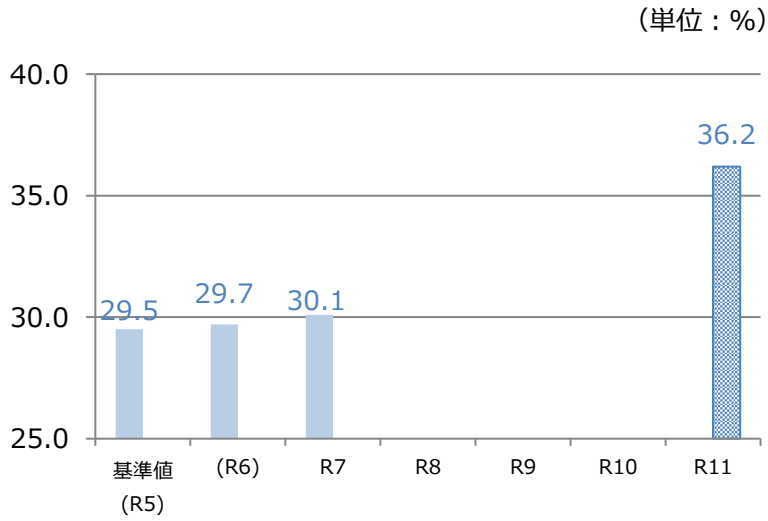


【出典】
政策推進課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
八戸市における年間 1 人あたりの路線バスの利用回数（コミュニティバス等除く）

■リサイクル率



【出典】
環境政策課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
1 年間のごみの排出総量に対し、リサイクルされた量の割合

【施策４】地域の安心・安全の確立

○施策の方向性

■ 充実した医療環境の整備を進め、安心して暮らすことができるまちの形成を目指します。

■ 市民の生活基盤となるまちの機能の充実を図るために、防犯対策や空き家対策の強化に取り組みます。また、公共施設の長寿命化や学校の統廃合、公園の整備など将来を見据えた持続可能なまちづくりを推進します。

■ 地震や津波、豪雨などの自然災害に対して、市民が住み慣れた地域で安全かつ安心に暮らせるように、災害時の避難体制や自主防災組織の編成等、地域における防災力の強化に取り組みます。

○主な個別施策

①質の高い医療環境の整備（9 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
医療・福祉職子育て世帯移住支援金支給事業	若者活躍応援課	P 66
看護師等修学資金貸与事業	保健総務課	P 66
ＡＥＤ普及促進事業	保健総務課	P 66
ドクターカー運行事業	保健総務課	P 66
医師確保対策事業	保健総務課	P 66
救急医療体制整備事業	保健総務課	P 67
がん検診事業	健康づくり推進課	P 67
ドクターヘリ運航事業（県）	市民病院管理課	P 67
総合的ながん対策事業	市民病院地域医療連携室	P 67

②安心・安全で持続可能なまちづくり（19 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧掲載ページ
安全・安心情報発信事業	危機管理課	P 68
十三日町・十六日町地区再整備支援事業	まちづくり推進課	P 68
本八戸駅通り地区整備事業	まちづくり推進課	P 68
中心商店街空き店舗・空き床解消事業	まちづくり推進課	P 68
鳥獣被害防止総合対策事業	畜産林政課	P 68
交通事故防止対策事業	くらし交通安全課	P 69
都市計画道路３・３・８号白銀市川環状線整備促進事業	道路建設課	P 69
都市計画道路３・４・11 号八戸大通り線整備促進事業	道路建設課	P 69
都市計画道路３・５・１号沼館三日町線整備促進事業	道路建設課	P 69
無電柱化推進事業	道路建設課	P 69

橋りょう長寿命化事業	道路維持課	P 70
交通安全施設整備事業	道路維持課	P 70
市道冠水被害対策事業	道路維持課	P 70
主要幹線舗装補修事業	道路維持課	P 70
市営住宅等長寿命化事業	建築住宅課	P 70
空き家活用・住みかえ支援事業	都市政策課	P 70
空き家等管理対策事業	都市政策課	P 71
公園施設長寿命化事業	公園緑地課	P 71
市民で賑わう公園魅力向上事業	公園緑地課	P 71

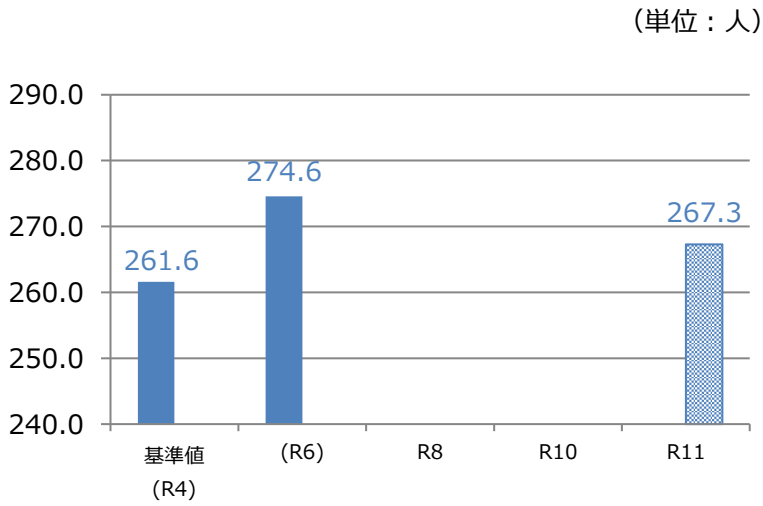
③防災力の強化（16 事業）

事業名称	担当部署	主要事業一覧 掲載ページ
国土強靭化地域計画推進事業	危機管理課	P 72
津波避難施設の整備等事業	危機管理課	P 72
災害用備蓄物資の充実事業	災害対策課	P 72
自主防災組織リーダー育成事業	災害対策課	P 72
自主防災組織育成事業	災害対策課	P 72
総合防災訓練の実施	災害対策課	P 72
避難所運営体制の整備事業	災害対策課	P 72
避難行動要支援者事業	福祉政策課	P 73
緊急自然災害防止対策事業	港湾河川課	P 73
緊急浚渫推進事業	港湾河川課	P 73
無電柱化推進事業	道路建設課	P 73
市道冠水被害対策事業	道路維持課	P 73
八戸市道路照明灯 LED 化エスコ事業	道路維持課	P 73
八戸市防犯灯 LED 化エスコ事業	道路維持課	P 74
防災教育副読本導入事業	教育指導課	P 74
消防防災施設整備事業（広域事務組合）	消防本部	P 74

○重要業績評価指標（KPI）

項目	目標値
①人口 10 万人当たりの医師数	267.3 人
②空き家バンクを活用した成約件数	76 件
③ほっとスルメールアプリの登録件数（八戸市分）	28,000 件
④防災訓練等への参加者数	4,000 人
⑤避難行動要支援者の支援に関する協定締結数	150 件

■人口 10 万人当たりの医師数

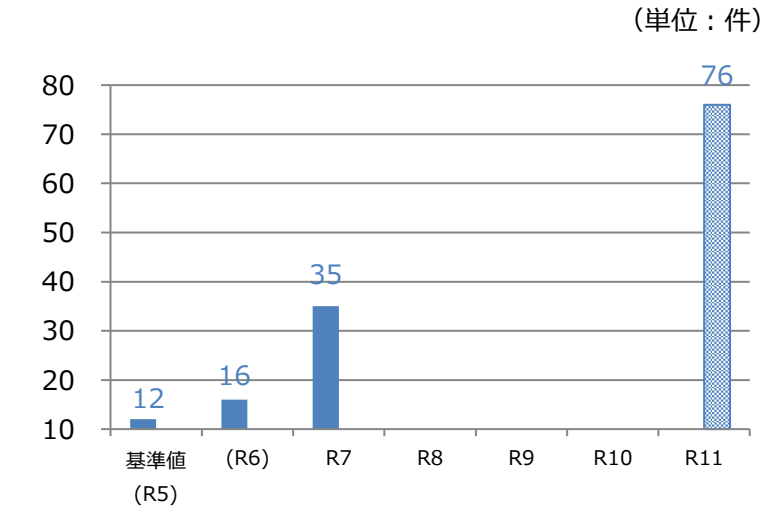


【出典】
保健総務課提供データ（医師・歯科医師・薬剤師統計）を基に作成

【基準日・期間】
２年毎・年末時点

【指標の定義】
八戸市における人口 10 万人当たりの医師数

■空き家バンクを活用した成約件数

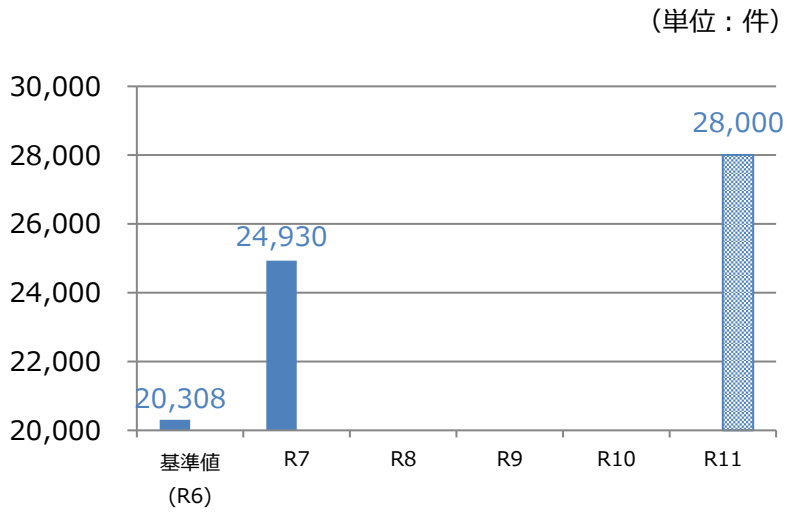


【出典】
都市政策課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
年度ごとの空き家バンクに登録された物件の１年間の成約件数

■ほっとスルメールアプリの登録件数（八戸市分）

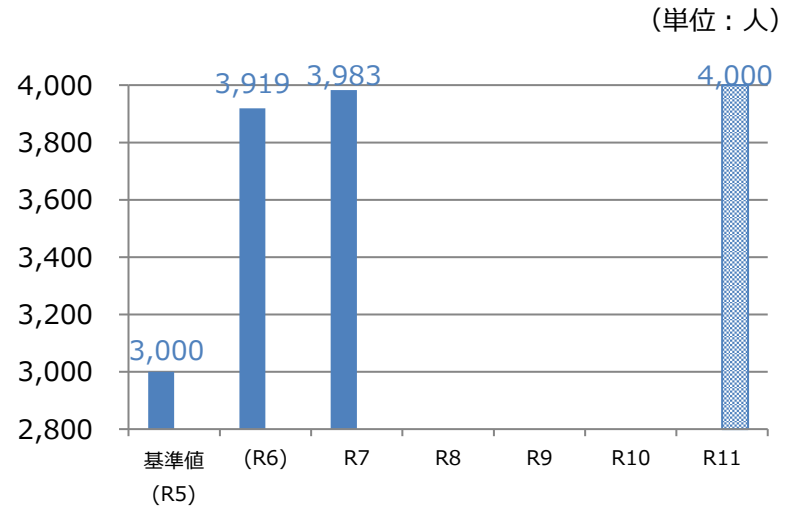


【出典】
危機管理課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度末日
（基準値は R7.2.4 時点）

【指標の定義】
ほっとスルメールアプリの「市町村選択」で「八戸市」を選択している件数

■防災訓練等への参加者数

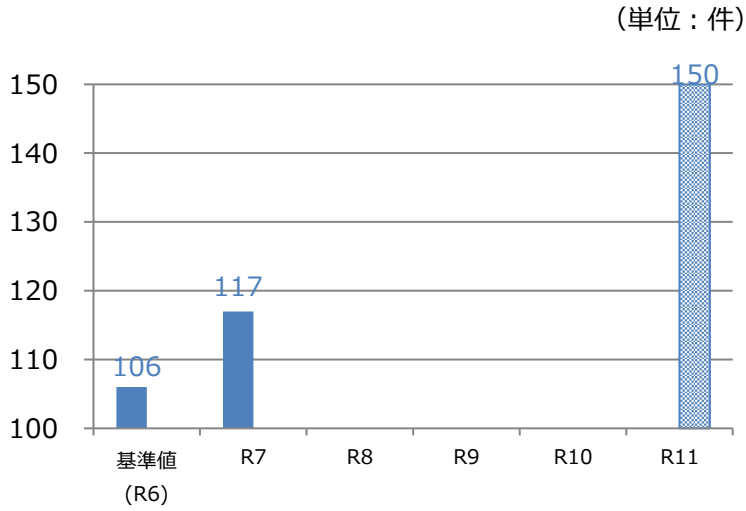


【出典】
災害対策課

【基準日・期間】
各年度集計

【指標の定義】
八戸市及び消防本部で把握している訓練について、参加者を集計したもの

■避難行動要支援者の支援に関する協定締結数



【出典】
福祉政策課提供データを基に作成

【基準日・期間】
各年度末日

【指標の定義】
避難行動要支援者の支援に関する協定を締結した件数